

# メサと滝回廊 概要説明書

1. メサと滝回廊について	P. 01
2. メサと滝回廊の提案	P. 03
1) 豊後路・郷の回廊基本構想	P. 03
a. 豊後路温泉回廊	P. 05
b. 滝回廊・4つの滝と4つの百選構想	P. 06
c. APU立命館アジア太平洋大学 玖珠キャンパス誘致提案	P. 12
d. ムツゴロウ王国誘致提案	P. 16
e. 慈恩の滝及び周辺地区基本構想	P. 17
f. 三日月の滝基本構想	P. 21
g. 天ヶ瀬温泉にぎわい空間計画	P. 24
2) 基本構想の実現に向けて	P. 26
3. メサと滝回廊 経過概要	P. 27
4. 山林と公有地（遊休地）の等価交換と 構造改革特区の設置による地域再生	P. 40
5. 参考資料	P. 42

平成21年5月

## メサと滝回廊

※本概要説明書は、「メサと滝回廊」の活動概要及び経過概要、滝回廊と玖珠町のまちづくり提案をまとめたもので、本概要説明書の玖珠町まちづくりの提案に記載する大学、個人、民間会社等と協議を行ったものではなく、「メサと滝回廊」の基本構想案として提案させて頂きました。

## 1. メサと滝回廊について

## 1) メサと滝回廊の活動目的

国道210号線・JR久大本線沿線活性化まちづくりの会・メサと滝回廊は、平成16年11月に日田市から九重町へ至る国道210号線と、JR久大本線沿線の地域活性化に向けて設立した地域づくりの民間グループです。

その後、各地域の実行委員会設立に協力し、日田市から九重町に点在する4つの滝と、アジアで唯一、メサやビュートの山が混在する、おとぎ話に登場するような景色を活かした地域活性化の取り組みをはじめ、国土交通省「日本風景街道」モデル地域指定要請、国道210号線広域清掃活動、観光案内パンフレットの配布、イベントの開催、百選への応募要請など、地域の活性化に貢献する活動を行政等の補助を受けずに独力で行ってきました。

また、将来構想として、日田から別府へ至る国道210号線、JR久大本線沿線に点在する滝や溪谷、メサとビュートの景観、温泉観光地が点ではなく線として繋がりをもち、それが面へと広がる地域活性化の観光戦略「豊後路・郷の回廊基本構想」を提言したいと考えています。

さらに、国土交通省「日本風景街道」再指定応募の機会があれば、再度行政に働きかけて、モデル地域指定の要望を行いたいと考えています。一方、「地質百選」が残り17ヶ所の追加募集を行っており、現在、玖珠町から「JR久大本線沿線地形地質」を応募して頂いているところです。

滝回廊については、日田市、玖珠町、九重町にある4つの滝を地域の核として、これを連携し、イベントの同時開催等の提案を行うことで効果的な戦略と地域活性化に取り組み、慈恩の滝については滝周辺に地元農産物等特産品を販売する「農産物等地場産品販売所」の設置要望、合わせてJR杉河内駅の移設と、県道接続を同じ場所に配置する事で観光客の利便性向上と地域活性化を図る提言に取り組んでいくとともに、竜のオブジェ【上昇喜龍】を核とした、地域活性化に取り組んでいきたいと考えています。

山浦地区に於いては平成21年、下園で桜や枝垂桃が開花する頃に、下園の長閑な風景と万年山の景色を鑑賞しながら下園の湧水を使用する手打蕎麦を食べる会「名水蕎麦の会」（仮称）を提案したいと考えています。「名水蕎麦の会」（仮称）とは、新名水百選に選定された下園妙見様湧水と万年山の麓の魅力ある山里を県内外に広く広報し、地域の活性化に貢献することを目的とします。参加者は、会の目的に賛同する県内外約30名で構成し、会費の一部を下園組に還元したいと考えています。

## ◆滝回廊の核となる4つの滝と竜のオブジェ「上昇喜龍」



桜 滝  
(日田市天瀬町)



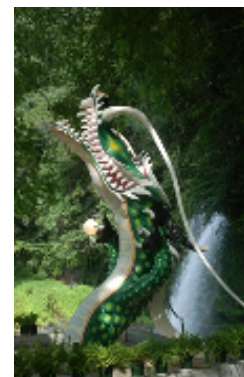
慈 恩 の 滝  
(日田市天瀬町・玖珠町)



三 日 月 の 滝  
(玖珠町)



竜 門 の 滝  
(九重町)



上昇喜龍  
慈恩の滝

国道210号線・JR久大本線沿線には、特色ある滝と溪谷など景勝地に恵まれており、これら深山の風景にも関わらずアクセスが容易であり、さらに日本最大級ダブルメサ万年山（地質百選）をはじめとするメサとビュートの山々の風景はアジアでも稀有であり、童話の世界に登場するような神秘的な風景を魅せています。

## 2) 慈恩の滝ボランティアガイドによる観光案内と目的

メサと滝回廊では、平成19年4月28日より土日祝日に慈恩の滝でボランティアガイドによる観光案内を始めました。地域の活性化と来訪者の増加を図ることは勿論ですが、単純に周辺ガイドをしているだけでは長期的な地域の活性化は望めません。私達は、戦略として観光案内と様々なイベントを仕掛け、地元住民と観光客を盛り上げることで構想の機運と実績を高め、最終的に以下に挙げている3つの目的を実現するものです。

### 活動の目的 ①国道210号線と県道直角取付け整備の実現

- ・交通結末点を整備し、地域交通の利便性向上と安全性向上を図る。

### ②農産物等地場産品販売所、駐車場、トイレの整備の実現

- ・地場農産物販売と地場農産物の食事ができる施設を整備
- ・地元のお年寄りや若者等が働く場所を整備

### ③J R杉河内駅移設の実現

- ・ゆふいんの森号が停車する観光駅として慈恩の滝の見える場所へ移設整備
- ・住民に利便性のある駅として移設整備

慈恩の滝を核として、杉河内、山浦、矢野地区の活性化と賑やかさを取り戻すとともに、地場農産物を販売する場所を整備し、地場農業の活性化とお年寄りや若者等が働く場所をつくることの実現に向けて、その長期的視野に立脚した目的のもとにボランティアガイドを行っています。



ボランティアガイドの河野元喜氏



## 3) インターネットで全国へ情報発信

平成17年12月にメサと滝回廊ホームページを開設し、慈恩の滝を中心にメサの山々と国道210号線沿線の滝及び地域の情報と写真を全国に向けて情報発信を行い、沿線の活性化に取り組んでいます。

また、定期的に内容を更新し、新しい写真や情報を提供しています。

(平成21年4月現在 約14,500アクセス)

※ホームページは検索サイトで“**滝回廊**”にて検索できます。



さらに、慈恩の滝へ訪問した観光客の皆様が個人のホームページやブログでボランティアガイドやスキのバツタなどを紹介して頂いております。また関東などから奨励のメールなども頂いており、この小さな取り組みが全国的な動きとなって広がりつつあります。この広がりを消さないよう、地域住民の皆様とさらに盛り上がるよう取り組んでいきたいと考えています。



## 2. メサと滝回廊の提案

### 1) 豊後路・郷の回廊基本構想

#### ①現況と課題

日田市から別府市へ至る国道210号線とJR久大本線は、**中九州の観光ルートの背骨**であります。このルートは社会構造及び旅行形態の変化、高速道路の開通、近年の景気停滞等によって、昔日の賑わいから後退しています。また、近年の観光地ブランドブーム、個人旅行の日常化により、面ではなく一点に集中した旅行が常識となり、観光地もその地域だけで起承転結する施策が行われてきました。その結果、観光地の連携が減少し、点と点を結ぶ線の部分が弱体化しています。

大分県に於いても観光地を連携する各種基本構想が立案されてきましたが、前述した近年の社会背景が、それに結び付いていかないのが現状です。

各自治体では、高速道路ICから観光地への最短ルートは明示しても、大分県中央部全域を周遊するための施策が乏しく、改善が必要とされるところです。

一方、平成19年、国土交通省に於いて「日本風景街道」が全国で94ルート設定されました。大分県では、別府市から九重町、竹田市へ至る「九州横断の道・やまなみハイウェイ」が設定されています。メサと滝回廊では平成19年に九州横断ルートの国道210号線を「日本風景街道」に応募して頂きたく、関係する行政に要請しましたが、残念ながら結実しませんでした。しかしながら、今後応募の機会がありましたら、関係市町に要請していきたいと考えています。

もうひとつの現状が、**地域との整備バランス**です。例えば、国道212号線の大山川沿いには3ヶ所の農産物直売所が整備され、駐車場とトイレが設けられています。同沿線には、今後さらにダム建設に伴い、森林公園やダム湖公園が計画されていますが、**観光客は、そのルートの延長に位置する黒川温泉や阿蘇に宿泊し、県外にお金を落としています。**

また、**大山川について日田市民は水量増加を要望していますが**、上流に松原ダムと下笠ダムがあり、ダムに貯水された水の水質は、全国のダムの中でワースト1になっています。

一方、**玖珠川にはダムがなく水質が保たれていますので、玖珠川の水量増加を要望した方が日田市民のみならず玖珠川流域に住む住民にとって有益であり、玖珠川が観光資源として復活するチャンスであり、中九州観光ルートの賑わいに繋がる**と考えています。

翻って、国道210号線の場合は高速道路整備の影響が大きく、特に日田ICから九重ICの区間に点在する観光地が大きな影響を受けています。都市と地域を最短で結ぶ高速道路は、利便性の高いものですが、地域の観光地にとっては必ずしも利便の恩恵を受けているわけではなく、アンバランスな状態に陥っています。

高速道路を用いて、点としての観光地で起承転結する事では地域の活性化は望めません。しかしながら、高速道路を利用するべきではないという事ではなく、どのように共存し、どのように地域全体がバランス良く活性化するのか、その施策が望まれていると考えています。

また、メサと滝回廊では、地質百選の追加募集に玖珠川溪谷の応募を行政に要請しています。しかしながら溪谷の山肌は竹林や雑草等が生い茂り、見映えの悪い景観となっています。これらは、杉枝打ち・伐採、竹林の伐採等、森林を手入れする事で美しい溪谷を復元し、魅力的な景観を再生すれば、中九州観光ルートの活性化に繋がると考えられます。さらに、九州森林フォーラムを特急ゆふいんの森号及び玖珠町で開催する事で車窓から荒れた山肌の現状を見て頂くことにより、早急な整備を推進する機運が高まると考えられます。



## ②目的

停滞化した国道２１０号線、ＪＲ久大本線沿線の地域を再度見直す事で、地域がバランス良く活性化する施策を関係する行政及び地域に提案することを目的とします。

## 基本構想イメージ

## 豊後路・郷の回廊

(素案)

日田から別府へ至る区間を地域の住民が共通するイメージとして、「豊後」を用い、故郷の趣きがある路で観光客をもてなすという意味を含めたものです。



### 基本構想全体説明図

### ③豊後路・郷の回廊 基本構想

#### a. 豊後路温泉回廊（5 頁参照）

日田市から別府市へ至る、日田温泉、天ヶ瀬温泉、玖珠温泉、宝泉寺温泉、湯布院温泉、別府温泉が各々、相互に連携することで、中九州観光ルートの活性化を図る基本構想の提案。

#### b. 滝回廊・4つの滝と4つの百選構想（6 頁参照）

桜滝から竜門の滝へ至る滝回廊と4つの百選により地域活性化を図る基本構想の提案。

#### c. APU立命館アジア太平洋大学玖珠キャンパス誘致提案（11 頁参照）

APU玖珠キャンパス誘致による玖珠町及び総合運動公園の活性化基本構想の提案。

#### d. ムツゴロウ王国誘致提案（14 頁参照）

ムツゴロウ王国誘致による玖珠町の活性化基本構想の提案。

#### e. 慈恩の滝及び周辺地区基本構想（15 頁参照）

慈恩の滝整備、国道210号線と県道の直角取付、農産物等市場産品販売所、駐車場、トイレの整備、JR杉河内駅移設による地域活性化基本構想の提案。

#### f. 三日月の滝基本構想（19 頁参照）

滝岩塊と魚道の修復、散策路の整備、JR北山田駅、小田の棚田整備による地域活性化基本構想の提案。

#### g. 天ヶ瀬温泉にぎわい空間計画（ 頁参照）

旅館・ホテルを文化芸術発信の場アートギャラリー回廊として位置付け、ロビー空間をアートギャラリーロビーとして活用し、宿泊者のみならず広く一般の方々にもギャラリーを利用して頂き、天ヶ瀬温泉の地域活性化に寄与する事を目的とする提案。

## a. 豊後路温泉回廊

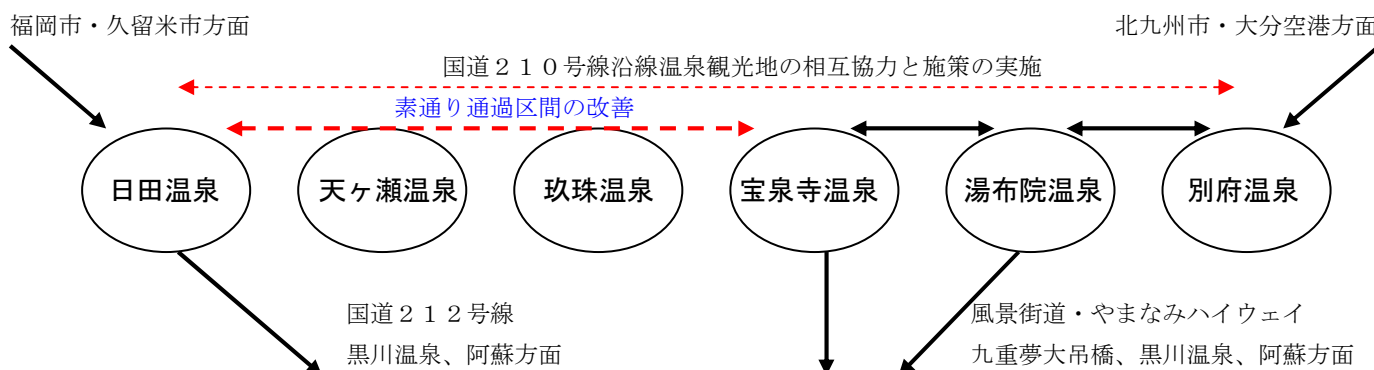
## ①現状と課題

日田市から別府市へ至るルートには主な温泉観光地が6ヶ所あり、古くから福岡市など大都市の観光客を受け入れ、賑わってきました。しかしながら**高速道路の整備に伴い**、日田温泉から黒川温泉や阿蘇方面への国道212号線の観光ルートと別府、湯布院温泉から黒川温泉、阿蘇方面のやまなみハイウェイの観光ルートに移りました。**日田市から九重町の国道210号線の区間は、観光客の素通り区間**となり、国道210号線の通行量が減少することで賑わいがなくなり、沿線の宿泊施設や休憩施設、飲食店などは苦境に陥っています。また、JR久大本線の特急ゆふいんの森号に於いても、観光客の殆どがJR由布院駅で降りるため、**日田市から九重町の区間は通過区間**になっています。

素通り通過区間になることで、沿線の宿泊施設や休憩施設、飲食店の利用が減少し、観光客のレジャー費が沿線に落ちないことによりサービスが低下し、悪循環に陥っているのが現状です。この**素通り通過区間に陥る実態を改善**しなければ、**中九州観光ルートの活性化**は望めません。

一方、最近のガソリン価格高騰と経済の停滞化により、一時的に国道210号線の交通量が増加しています。地域の観光をアピールするのに良いタイミングであると考えられ、国道を利用して頂いた観光客に再度来て頂くための施策が早急に必要と考えられます。

## ②基本構想「豊後路温泉回廊」の提案

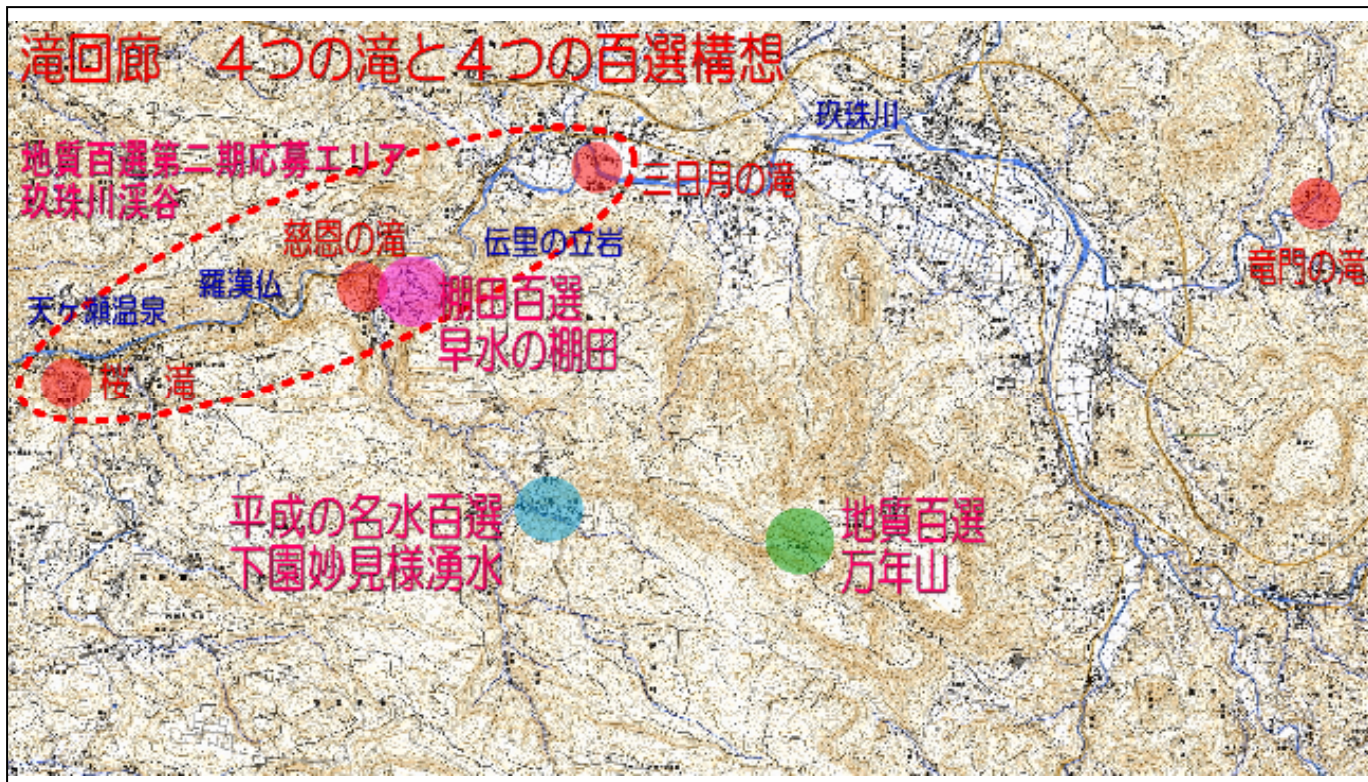


- 温泉観光地が相互協力を結び、回廊を巡る総合的な施策を実施することで集客アップを図る。
  - 各温泉地で共通に利用出来る温泉入湯手形（スタンプ等）の実施。
  - 国道通行手形（スタンプ等）を実施し、国道210号線沿線の観光施設、休憩施設、飲食店などで活用。
- 観光モデルコースの作成と共通観光マップの作成
  - 日田から周遊し、湯布院、別府で宿泊または別府から周遊し、日田、玖珠で宿泊するモデルコースの設定と関係機関への紹介。また、豊後路温泉回廊のルートマップを作成、観光HPの開設。
- マスコミ、新聞、インターネット等を活用し、さらなる観光アピールを実施。
  - 玖珠町に於いては観光ポテンシャルがあるものの知名度が弱く、さらなる改善が必要。
- 著名者等、魅力ある人材を招聘または活用することで観光アピールを実施。
  - 著名者を通して、第三者に全国的に広くアピール出来る。
  - ドラマやアニメの舞台として地域を活用して頂く事で全国的にアピール出来る。
- APU 立命館アジア太平洋大学と地域友好交流協定を結び、アジア各国へ観光アピールを実施。
  - 留学生と地域交流を図り、アジア各国へ効果的に知名度アップを実施。
  - 英語、中国語、韓国語等の観光マップ、観光HPを製作し、国際的な知名度アップを図る。



## b. 滝回廊・4つの滝と4つの百選構想

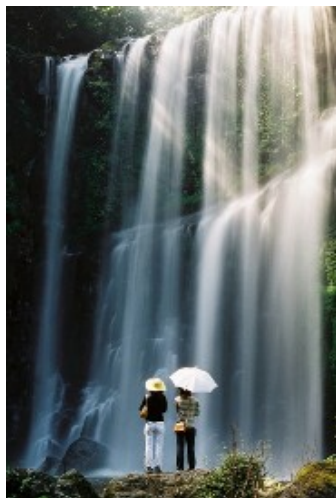
平成20年8月現在、滝回廊ルートに3つの百選が選定されています。



## ◆滝回廊

桜滝（日田市）から竜門の滝（九重町）へ至る国道210号線、JR久大本線、玖珠川沿いのライン。

## ◆滝回廊の核となる4つの滝



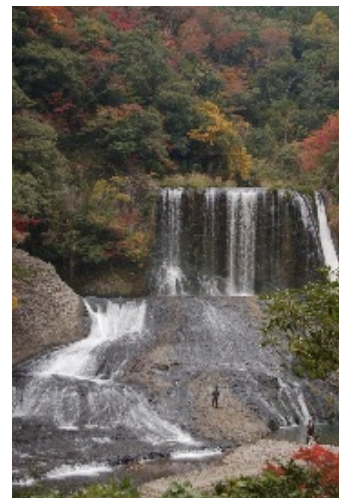
桜 滝  
(日田市天瀬町)



慈 恩 の 滝  
(日田市天瀬町・玖珠町)



三 日 月 の 滝  
(玖珠町)



竜 門 の 滝  
(九重町)

## ◆滝回廊4つの百選基本構想

棚田百選	早水の棚田	(玖珠町) (平成11年7月選定 農林水産省)
地質百選	万年山	(玖珠町) (平成19年5月選定 日本の地質百選選定委員会)
平成の名水百選	下園妙見様湧水	(玖珠町) (平成20年6月5日選定 環境省)
地質百選	JR久大本線沿線地形地質	(玖珠町) (応募中：平成21年5月発表予定)



## ①下園妙見様湧水が「平成の名水百選」に選定

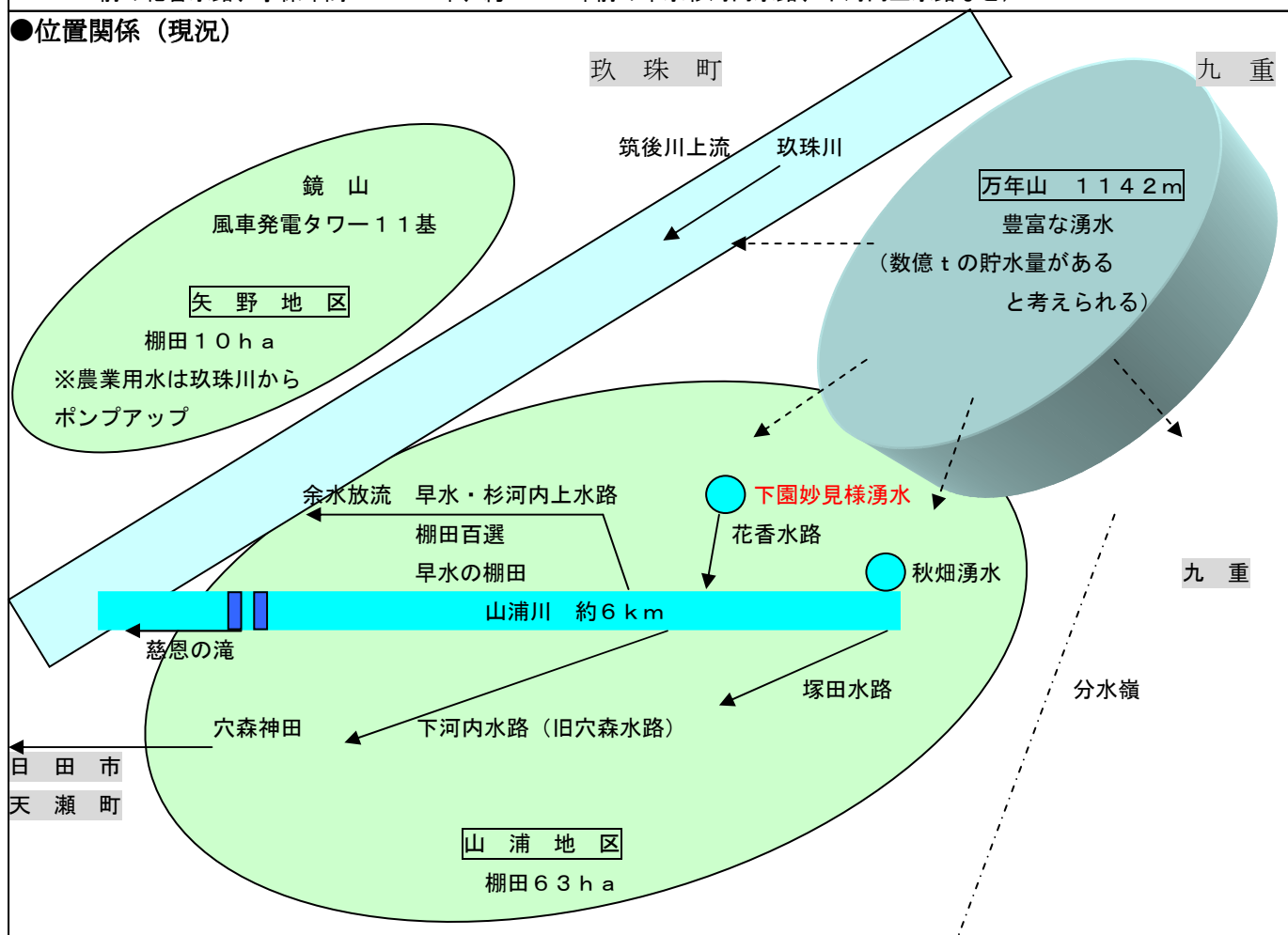
環境省選定「平成の名水百選」が平成20年6月5日に発表され、下園妙見様湧水（玖珠郡玖珠町大字山浦字下の園）が選定されました。平成20年3月までに各都道府県を通じて全国の市町村から候補地を募るもので、選定では地域住民がどれだけ水の保全活動に携わっているかという点を重視し水質や景観、故事来歴なども考慮されます。

メサと滝回廊では、平成19年12月25日玖珠町役場に於いて、小林玖珠町長、河島商工観光課長等に対し、山浦・杉河内地区の湧水群及び山浦川、慈恩の滝を対象とする応募を要請し、その結果、玖珠町から応募して頂き、下園妙見様湧水が平成の名水百選に選定されました。

参考 下園の湧水は平成9年度の調査によると、梅雨期など豪雨後は毎分100トン近くまで増加し、冬の渇水期でも毎分30数トンを保っています。年間平均では毎分40～50トン、一日6万～7万トンに達し、これは1カ所からの湧水量としては大分県内最大です。（参考：玖珠町史 平成13年度版）

また、万年山湧水を活かした貴重な文化遺産である古い手掘の水路が残ります。（宝暦年間1763年、約244年前の花香水路、享保年間1726年、約280年前の早水杉河内水路、下河内上水路など）

## ●位置関係（現況）



下園妙見様湧水



秋畑湧水



下河内上水路



早水杉河内上水路

## ②JR久大本線地形地質を地質百選に再指定応募要請

(NPO) 地質情報整備・活用機構 (GUPI) と (社) 全国地質調査業協会連合会 (全地連)、全国の関連団体協力のもと設立された「日本の地質百選選定委員会」に於いて万年山が「玖珠二重メサ」として、大分県で唯一「日本の地質百選」として平成19年5月に選定されました。

現在、全国の地質百選を83ヶ所選定しており、残り17ヶ所を第二期選定として募集しています。(発表予定：平成21年5月10日)

大分県内の選定にあたっては第一次選定時に「久大線沿線地形地質」が候補として挙がっており、応募〆切が平成20年度末になっているため、現在、玖珠町に「玖珠川溪谷」の応募を要請しているところです。

参考：大分県内の地質百選第一次候補地 平成19年1月

姫島・臼杵石仏群・瓜生島・別府島原地溝帯・**玖珠二重メサ**・湯布珪藻土採掘場・国東半島  
津久見石灰岩鉱山・竹田火山台地侵食地形・**久大線沿線地形地質**

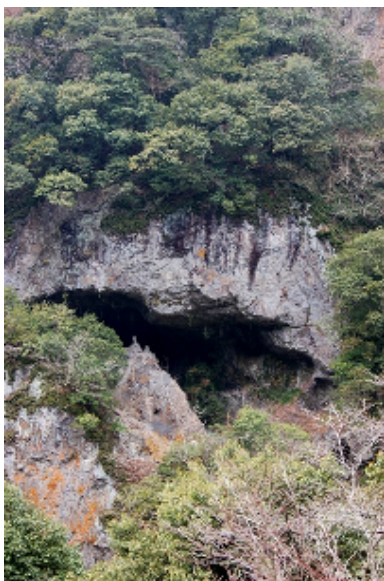
## ◆地質百選：玖珠二重メサ（万年山）



メサと滝回廊事務局が撮影した万年山の写真(上2枚)が、地質百選ガイドブックである「日本列島ジオサイト地質百選」(全国地質調査業協会連合会・地質情報整備・活用機構/オーム社/平成19年10月)に掲載されております。



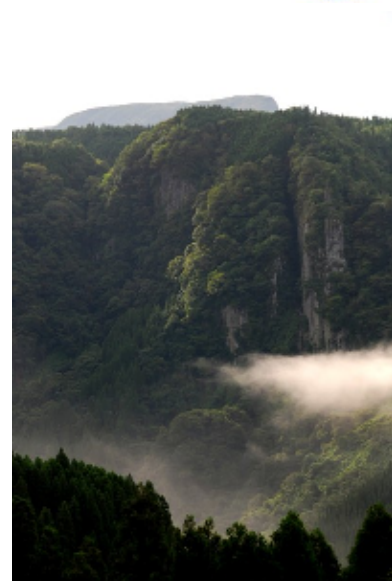
## ◆第二期選定応募エリア：JR久大本線地形地質



湯ノ釣 羅漢淵の羅漢仏



矢ノ釣 JR久大本線と国道210号線、玖珠川



矢ノ釣 伝里(つたり)の立岩  
背後は、地質百選・万年山



## ③玖珠川溪谷の現況と課題

玖珠川溪谷は、羅漢淵の羅漢仏や伝里の立岩など、ポイントでは素晴らしい景色を眺望出来ますが、線として捉えた場合、河畔の竹林や手入れの行き届かない杉林が目立ち、さらに、それらが岩肌を隠したり、車窓を遮ったりするなど、非常に荒れた印象を受けます。

愛知県の香嵐溪のように行政、地域住民が一体となり、竹林や杉の伐採、杉の枝打ち、雑草の除去、紅葉木の植樹など観光資源の再生を行い魅力的な景観をつくるのが、J R久大本線、国道210号線沿線の活性化に繋がり、また、地質百選に選定されることで、再生の機運が高まると考えられます。



香嵐溪（こうらんけい）（愛知県豊田市足助町）

香嵐溪の紅葉は、香積寺11世の三栄（参栄）和尚が江戸時代の寛永11年（1634年）参道に楓等を植えたのがはじまりといわれています。

1924年には、飯盛山一体を町民の協力で「森林公園」として整備されました。その後、1934年に町民の協力で楓の成木が移植され、以降、継続して移植、植樹が行われ、半世紀以上かけて、官民協力の見事な景観が出来上がりました。



荒れた竹林と手入れの行き届かない杉林（天ヶ瀬温泉上流）



竹林が川に迫り出し見映えが悪い



羅漢仏付近の岩肌を隠す杉



荒れた山肌

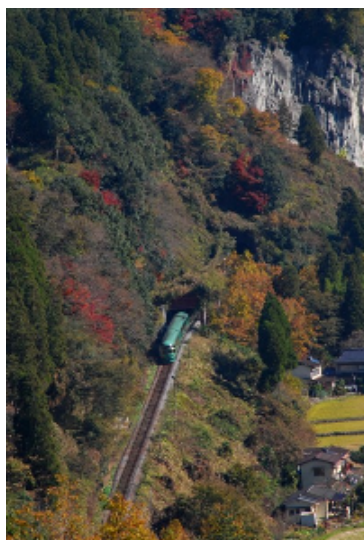


#### ④百選に選定される効果

地質百選「玖珠川溪谷」が百選に選定されることで、既に百選に指定されている地質百選「玖珠二重メサ」（万年山）と棚田百選「早水の棚田」、平成の名水百選「下園妙見様湧水」とともに4つの百選エリアを構成する全国でも稀有な景勝地として、さらなる知名度の向上が期待できるとともに、近隣都市から滝回廊へ訪れる観光客が増大し、国道210号線とJR久大本線が大分県の観光ルートの背骨として復活すると考えられます。また、地域住民の地域文化の理解と意識が向上し、まちづくりへ積極的に参加することに繋がります。ひいては、それが玖珠川溪谷などを景観整備する機運を高め、さらに百選というネームバリュー効果によって、日田市から玖珠町へ至る沈滞化した国道210号線沿線に国や県からの支援など、効果的な整備が図られる事に繋がります。

メサと滝回廊では、この4つの百選を、滝回廊を形成する4つの滝「桜滝」「慈恩の滝」「三日月の滝」「竜門の滝」とともに中九州観光ルートの活性化に繋がりたいと考えています。

一方、玖珠川溪谷沿いにはJR久大本線、国道210号線が併行しており、車窓景観が整備される事で観光地の魅力が向上すれば、JR久大本線を利用する観光客が増大し、さらなる人気観光路線として定着し、観光特急増大及び本数の少ない日田玖珠間の普通列車運行本数の増大など、JR久大本線の発展と存続へ繋がります。また、高速道路によって沈滞化した国道210号線沿線に於いても、玖珠川の水量増加とともに魅力的な観光路線として整備される事は、観光バスやマイカーなどの観光客が増大し、素通り通過区間の改善に繋がり、地元飲食店やお土産物店などをはじめ、農産物等地場産品販売所の入店客を増大させ、ひいてはそれが中九州観光ルートの活性化へ繋がります。



玖珠川溪谷沿いにはJR久大本線、国道210号線が併行し、魅力的な自然観光地に隣接しています。



人気の特急ゆふいんの森号。荒廃した杉林を整備することで地域イメージが向上し、JR久大本線利用客が増大します。



観光バスなどで観光客が増大すると飲食店やお土産物店、農産物等地場産品販売所の入店客が増大します。

## c. APU立命館アジア太平洋大学玖珠キャンパス誘致提案

## ①誘致の目的

玖珠町は童話作家久留島武彦氏生誕の地、童話の里として、まちづくりが進められています。一方で現在、世界中で日本アニメが放映されており、全世界の放送局で放送されるアニメ番組の内、6割が日本製です。また、日本国内のアニメの市場規模は、約3千億円（デジタルコンテンツ協会による2003年度調査）で、世界がその動向に注目しています。特にアジア地域では日本のアニメーション技術の習得に力を入れており、下地が出来上がっています。（アニメのセル画等、日本からの下請作業）

現在、アニメーションはコンピューターを用いたデジタルアニメの新しい時代であり、また、**玖珠町のメサとビュートの山々が混在する幻想的な景観は、アジアでも稀有な地形であり、創造的な学問の地に相応しく、童話とアニメーションがミックスした新しい時代の童話の里づくりと情操教育が、人材育成に寄与出来るものと考えられます。**

また、平成20年7月29日付けで、文部科学省ほか関係省庁（外務省、法務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省）に於いて「留学生30万人計画」の骨子が策定されました。「留学生30万人計画」とは、日本を世界により開かれた国とし、アジア、世界の間のヒト・モノ・カネ、情報の流れを拡大する「グローバル戦略」を展開する一環として、2020年を目途に30万人の留学生受入れを目指すもので、日本留学への関心と呼び起こす動機づけや情報提供から、入試・入学・入国の改善、大学等の教育機関や社会における受入れ体制の整備、卒業・修了後の就職支援等、各省庁が横断的に取り組むもので、今後、国の支援が期待出来ます。

一方、少子化等に伴う定員割れの4年制私立大学が現在増加しています。（47.1%／565校のうち266校：日本私立学校振興・共済事業団調査：平成20年）さらに、大学へ進学する学生数が都市の集中と地方の減少で二極化が進んでおり、地方に位置する大学に於いては、さらなる特色と魅力ある学部を設置が求められており、アニメーション学部を設置は効果的と考えられます。

また、アジアのみならずヨーロッパに於いてもアニメを通じて日本語を学ぶ若者が増加しており、さらなる留学生の増加が期待出来ます。

以上の理由から、玖珠町から高速道路で約30分と近接する**APU立命館アジア太平洋大学**から新設学部の**玖珠キャンパス（童話・アニメーション学部及び研究室）**を誘致し、海外と国内から学生を受け入れます。さらに**総合運動公園と隣接した一体的な整備**を行うことで、大学の運動施設、地域交流施設として活用させ、計画地の有効活用と投下資本の回収を行います。

## ②規模及び経済効果

玖珠キャンパスの規模は、立命館アジア太平洋大学学生数（約5千人）の1割以内を目標に1学年100人程度×4学年の計400人程度を想定し、玖珠町に学生を受け入れます。1人1ヶ月の生活費を10万と想定すると、年間1人120万円となり、学生全体では年間4億8千万円（教職員除く）が玖珠町に落ちることになり、大きな経済効果を生み出します。

APU玖珠キャンパス誘致に400人規模の用地+校舎建設費を10～15億と仮定すると、3年以内に間接的に償還出来るものと考えられます。長期的視野で見た場合、**10年で約48億円と、大型公共事業に匹敵する経済効果を玖珠町にもたらすことが出来ます。**

## ③誘致の課題

少子化、世界的に経済が停滞化する現在、一般的に地方大学の学部新設を要請することは容易ではありませんが、アニメーションという世界を見据えたコンテンツに特化する学部設置を目指すことは私立大学及び留学生にとって魅力的なものになると考えられます。

（次頁へ続きます）



また、童話とアニメのシンポジウムやアニメーション国際映画祭等を開催し、著名なアニメーション作家や童話作家を招聘することで、国内外に玖珠町の自然と大学誘致のアピールを行い、さらに、APU立命館アジア太平洋大学とまちづくり交流協定を結び、弾みを付けることで玖珠町の機運を高めていきます。

#### ④対外効果

多くの学生、留学生が玖珠町に居住すれば経済効果は勿論の事、国内外の玖珠町に対する人材交流が盛んになる事で国際的な認知度が高まり、童話アニメ以外についても観光・産業などをアピール出来る二次効果を生み出し、玖珠町のイメージアップに繋がります。

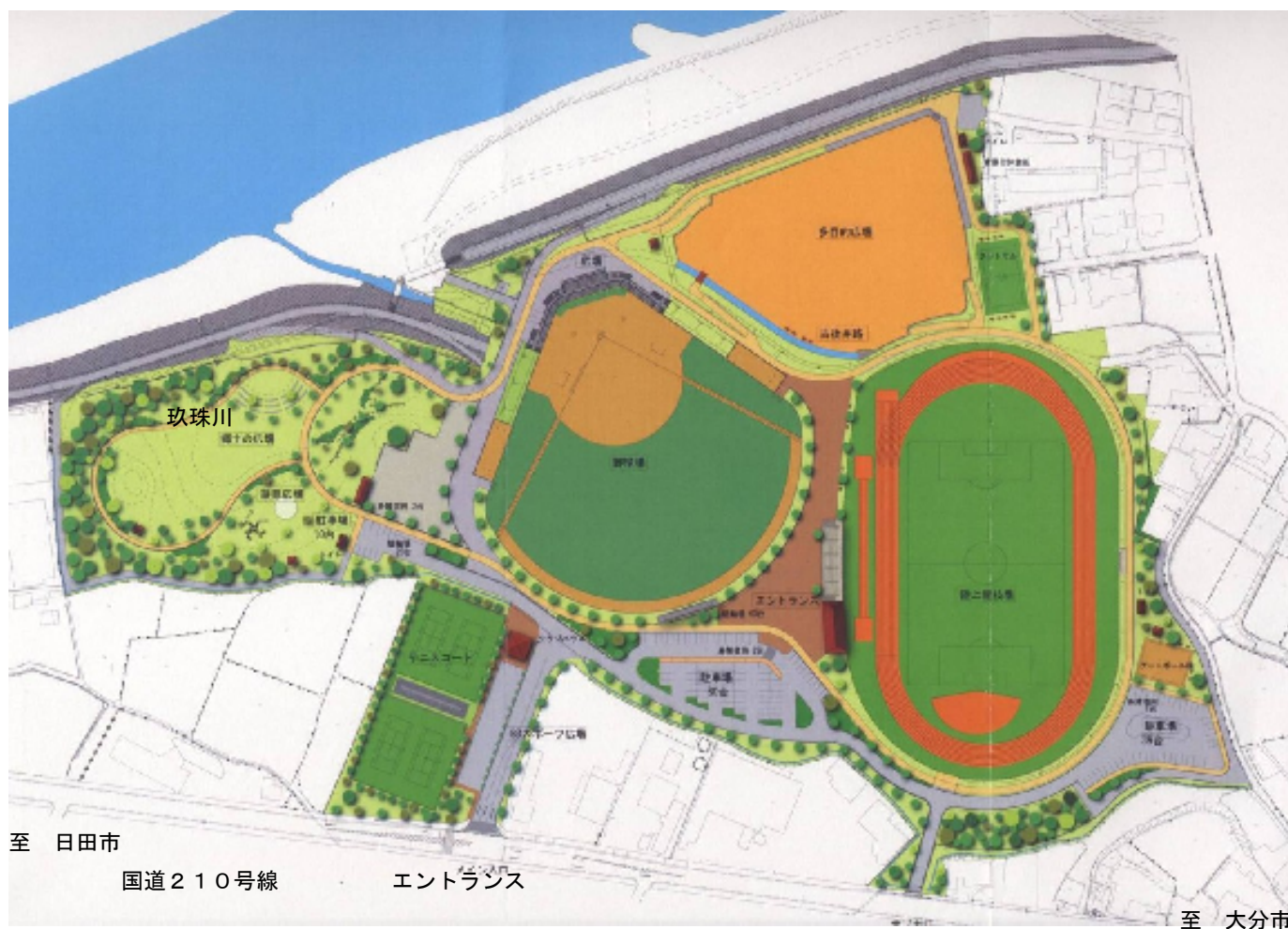
また、**留学生が製作するアニメは、出身国の文化、歴史、風土が加味されたものが期待出来、国際的な文化コンテンツとして、魅力的な輸出商品に成りえるものと考えられます。**

さらに将来的には、童話とアニメーションの国際イベント開催を目指し、世界から人を呼び寄せ、国際的な町として玖珠町の認知度を高めていきます。

#### ⑤総合運動公園の一体的活用案

平成20年9月、総合運動公園計画の中止と敷地計画の見直しを図ることになりました。

寄与することを目的とします。



玖珠町総合運動公園計画敷地図 (出典：玖珠町ホームページより)

A P U玖珠キャンパス誘致について、校舎を総合運動公園に隣接させ、一体的な整備を行い、大学グラウンドとして有効活用するとともに、アニメ・童話を活用した相互交流とイベントに活用出来、総合運動公園が子ども達に人気のスポットになると考えられます。

## ⑥総合公園多目的広場をアウトドアスポーツとイベントに活用

玖珠町は伐株山をはじめ町内のメサ地形など自然条件を活かしたパラグライダーなどアウトドアスポーツが盛んなところで、玖珠町の特徴といえるものです。

この自然条件を備えたアウトドアスポーツを行える地域は国内でも稀有であり、さらなるスポーツ人口の増加と賑わい、地域交流の発展を望むところです。

現在、パラグライダーの着地点は、田畑や河川敷、広場など、それほど多くはなく安全性にも問題があり、降下してから飛翔地点まで戻る際に移動手段を持たない人はタクシーなどを利用しているのが現状です。

また、観光客がその飛翔する姿を見学したくとも、どの場所を見れば良いか分からず、どこに問い合わせれば良いか分からない状態です。そこで**多目的広場をパラグライダーの着地点として活用**することで、安全性を向上させます。また、総合公園利用者、観光客等がパラグライダーを見学出来るスポットを作ること、総合公園の特色になるものと考えられます。さらに観光客が容易に情報を得るためのパンフレットやHP、携帯サイトなど、インフォメーション機能の充実を図ります。



伐株山のパラグライダー

パラグライダーなどダイナミックで自然を活かしたスポーツは、**メサやビュートの地形と結び付いた他の地域にはない、玖珠町の特徴のひとつ**です。これをさらに一歩前進させ、他のアウトドアスポーツも呼び寄せることで、内容の充実を図ります。ひいてはこれらスポーツ利用者や見学者が、町の施設利用、飲食、宿泊などを利用する事で、経済効果に繋がると考えられます。

自然アウトドアスポーツ	フリークライミング、マウンテンバイク、ストリートスポーツ、パラグライダー バルーン、カヌー、フィッシング、トレッキング、乗馬など
-------------	---

これらアウトドアスポーツをひとつにまとめるイベントを、**総合公園と三日月の滝公園**を中心に玖珠町全域で開催し、玖珠町の特徴を内外へアピールするとともに観光客の増加と、それに伴う経済効果へ繋がるものと考えられます。

## ⑦総合公園多目的広場に玖珠町の農産物等特産品青空市場を土日祝日に開設

そこへ行けば何かある、というのは都市の観光客にとって地域産物を見ることが出来る重要な機会だと思います。一方、地方の高齢者が年金収入だけでは生活が困難になりつつあり、地域格差の是正が求められています。

多目的広場にお年寄りが農産物を販売する場を設けることは収入を得る事に繋がり、地域格差是正に貢献するとともに、都市観光客は田舎の新鮮な野菜と田舎の素朴な触れ合いを得る事が出来ます。

玖珠町各地区から農産物等販売所を土日祝日に出店して頂くことで、総合公園に賑わいのある空間が生まれます。仮設店舗テントやテーブル、案内パンフレット等は玖珠町が協力します。これらがマグネットとなり人を呼び寄せ、地域の活力を生み、地域振興に繋がると考えられます。





## d. ムツゴロウ王国誘致提案

玖珠町のメサとビュートの山々や高原、溪谷の地形がもたらす幻想的、童話的な素晴らしい自然景観は、自然に生きる動物たちののんびりとした牧歌的で長閑な風景と通じるものがあり、玖珠町のイメージに合うものがあります。

一方で、日田市出身の作家、**畑正憲氏**のムツゴロウ王国が東京から撤退し、北海道に帰りました。集客力不足や立地条件、運営手法など様々な要因が考えられますが、都市のシチュエーションが動物たちと交流する事に合わなかった事だと思います。北海道など雄大な自然環境を背後に動物たちと触れ合う事が最も相応しいという事です。草原などの自然環境の中で動物たちが長閑に寝そべる姿を見ると心癒されるものがあります。

翻って玖珠町は、北海道の自然景観に共通した雄大な自然環境と爽やかな高原の気候が備わり、動物たちが暮らすのに最適な場所であると思います。さらに**畑正憲氏**は地元出身であり、玖珠町的环境に精通している事と思われます。また、前述したA P U立命館アジア太平洋大学玖珠キャンパス誘致によって、アジア各国から学生が玖珠町に居住することで、学生のアルバイト先として必要だと考えられます。さらに、関係する各国からの関係者をはじめ、各国からの観光客を玖珠町に呼ぶことが出来、ムツゴロウ王国入園者増大に寄与するものと考えられます。

以上の理由から、ムツゴロウ王国を玖珠町に誘致するとともに、合わせて童話や映像に精通した**畑正憲氏**に、前述したA P U立命館アジア太平洋大学玖珠キャンパスの客員教授、玖珠町のまちづくりアドバイザーとして迎える事を提案したいと考えています。また、玖珠町のムツゴロウ王国は、東京ムツゴロウ王国のような利益を追求する施設ではなく、北海道のムツゴロウ王国の全ての動物とスタッフの方に移住して頂き、ここで暮らして頂こうという事です。両側回遊魚である鮎のように、地元に戻って暮らして頂く事を願っています。

畑 正憲（1935年・昭和10年）

小説家、エッセイスト、生物学者。愛称は「ムツゴロウ」。福岡市生まれ。中学、高校時代を父親の郷里である大分県日田市で過ごす。東京大学大学院理学系研究科修士課程に進学する。

日本エッセイスト・クラブ賞（1968年第16回）、菊池寛賞（1977年第25回）受賞。

2004年7月28日、東京サマーランド内の約9haの敷地に「東京ムツゴロウ動物王国」を開設。2007年11月25日に正式に閉園。



メサの高原を背後にする動物王国のイメージ

### ①国道２１０号線由布院～浮羽間における道の駅の現状とトイレ、駐車場設置の要望

国道 387 号線  
 玖珠 IC 前に道の駅を建設中

【福岡県】  
道の駅原鶴（国道386号線）  
道の駅浮羽（国道210号線）

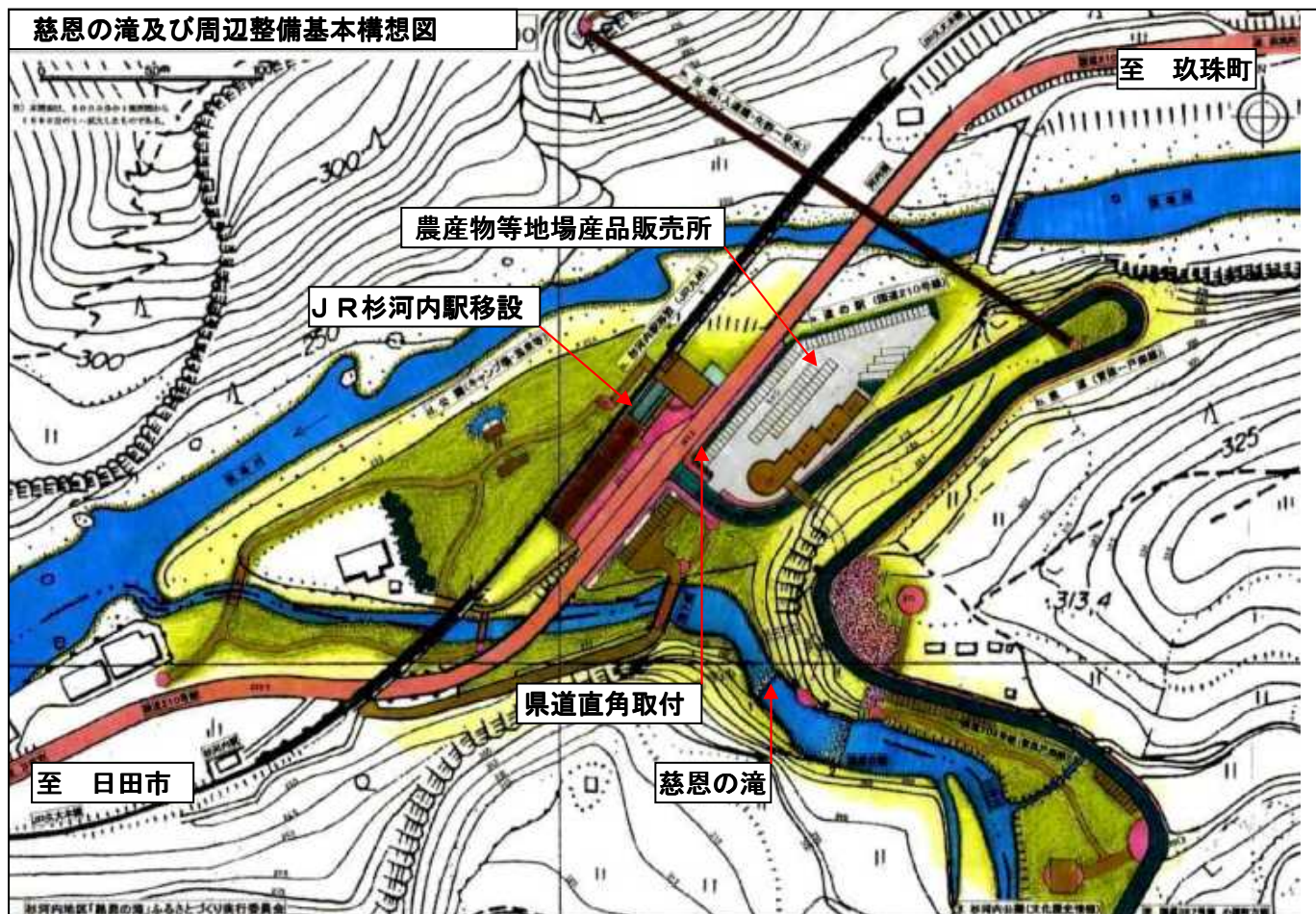
道の駅等の年間売上（聞取り調査）

木の花ガルテン	約5億円
豊後大山ひびきの郷	約7億5千万円
道の駅原鶴	約9億円
道の駅うきは	約6億5千万円
道の駅原尻の滝	約2億円
道の駅やよい	約3億円



地図出典：九州の道の駅ホームページ（国土交通省九州地方整備局）

慈恩の滝及び周辺整備基本構想図





## ②県道直角取付＋農産物等地場産品販売所＋ＪＲ杉河内駅移設の整備



土地利用計画説明写真（農産物等地場産品販売所、駐車場、トイレ及び滝公園、県道合わせて、約0.7ha）



## ③慈恩の滝親水公園の提案



現在よりも広く遊べる施設で、子供たちや観光客の滞留時間を長くします。せせらぎは、幼児と小学生用河川プールとします。



本流（右側）は堰を設け、中学生以上の河川プール及び禁漁区として活用します。



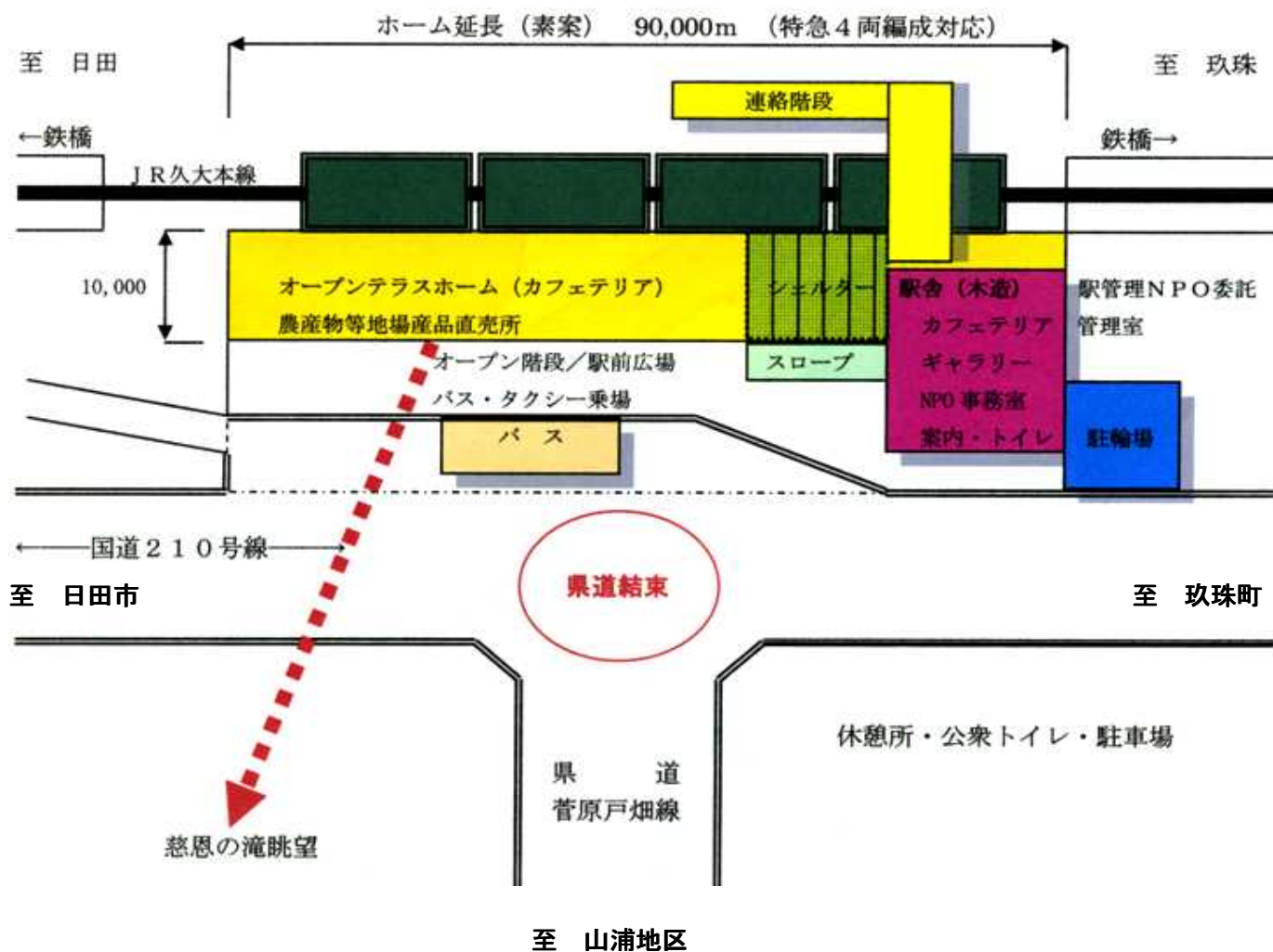
## ④ J R 杉河内駅の移設

J R 杉河内駅を現在の位置から慈恩の滝の見える場所に移設し、農産物等地場産品販売所、隣接公園、県道と一体化した整備を行い、交通結末点として地域住民、観光客の利便性を向上させます。駅の基本構造は、4両編成対応のホームとし、ホームは、デザイン性と地場産品（杉、檜材など）を使用し、これまでの駅イメージを覆す幅員10m前後のオープンカフェスタイルで、特急を短時間停車させ、乗客にホームで休憩しながら滝を眺望して頂く、駅の機能プラスアルファがある観光駅とします。

メサと滝回廊では、慈恩の滝前の国道と県道の直角取付け（県道整備に合わせて計画）及びJ R 杉河内駅移設と農産物等地場産品販売所の設置を行政、関係機関、地元に対し、計画が推進していくよう取り組んでいるところです。

尚、駅の移設に際し線路縦断勾配の問題が御座いますが、J R 九州様より移設は可能とのご返答を頂いております。

## ◆新杉河内駅及び県道整備 イメージ（素案）



J R 杉河内駅移設と県道取付け詳細説明図

## f. 三日月の滝基本構想

## ①三日月の滝整備

三日月の滝落ち口の崩れた岩塊は、地元お年寄りによると大正時代に日本陸軍の砲撃練習に使用された名残であるかも知れないという事です。そのため、元々は滝全面に水が流れ落ちていたものが、中央の岩が崩壊した部分と魚道に水流が集中し、水が均等に綺麗に流れ落ちていません。また、滝に近接して、ゆっくりと眺望、周回して散策出来る休憩施設、園路等が整備されていません。

この崩れた岩塊と魚道を修復し、滝全面に水が流れ落ちるようにし、本来の滝の姿に戻す整備を行い、また、緑のない堤防に散策園路と紅葉木を植樹し、季節感溢れる魅力ある滝空間をつくります。さらに堤防の散策園路に照明灯を設置し、イベント時には竹筒の灯り等を並べます。



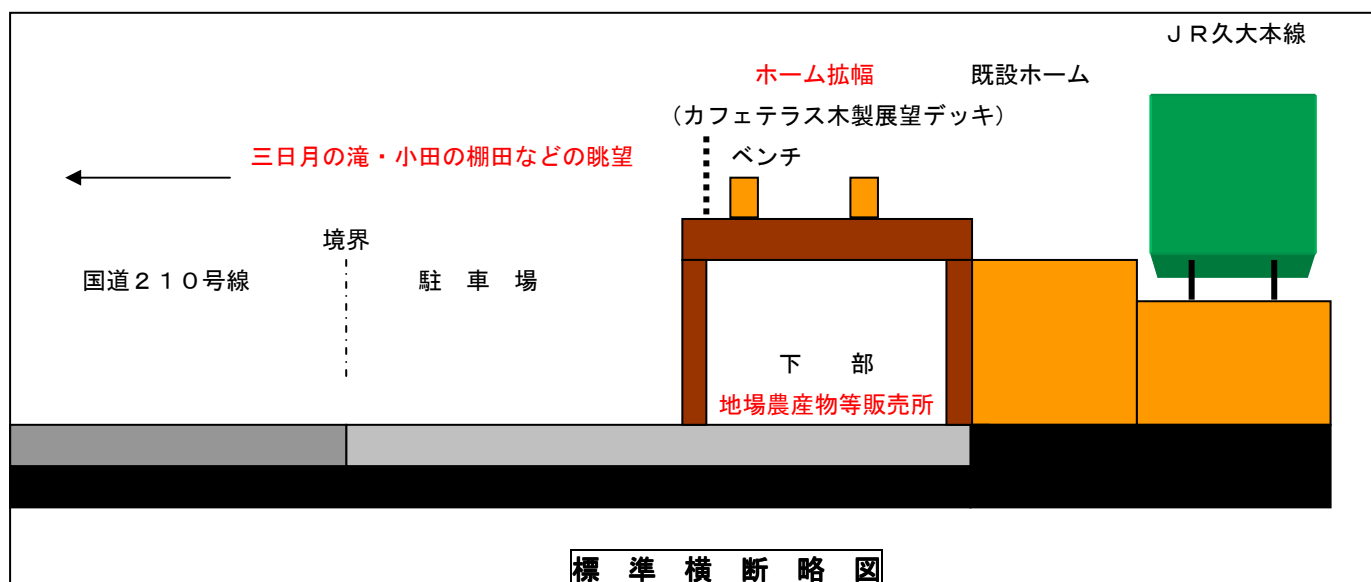
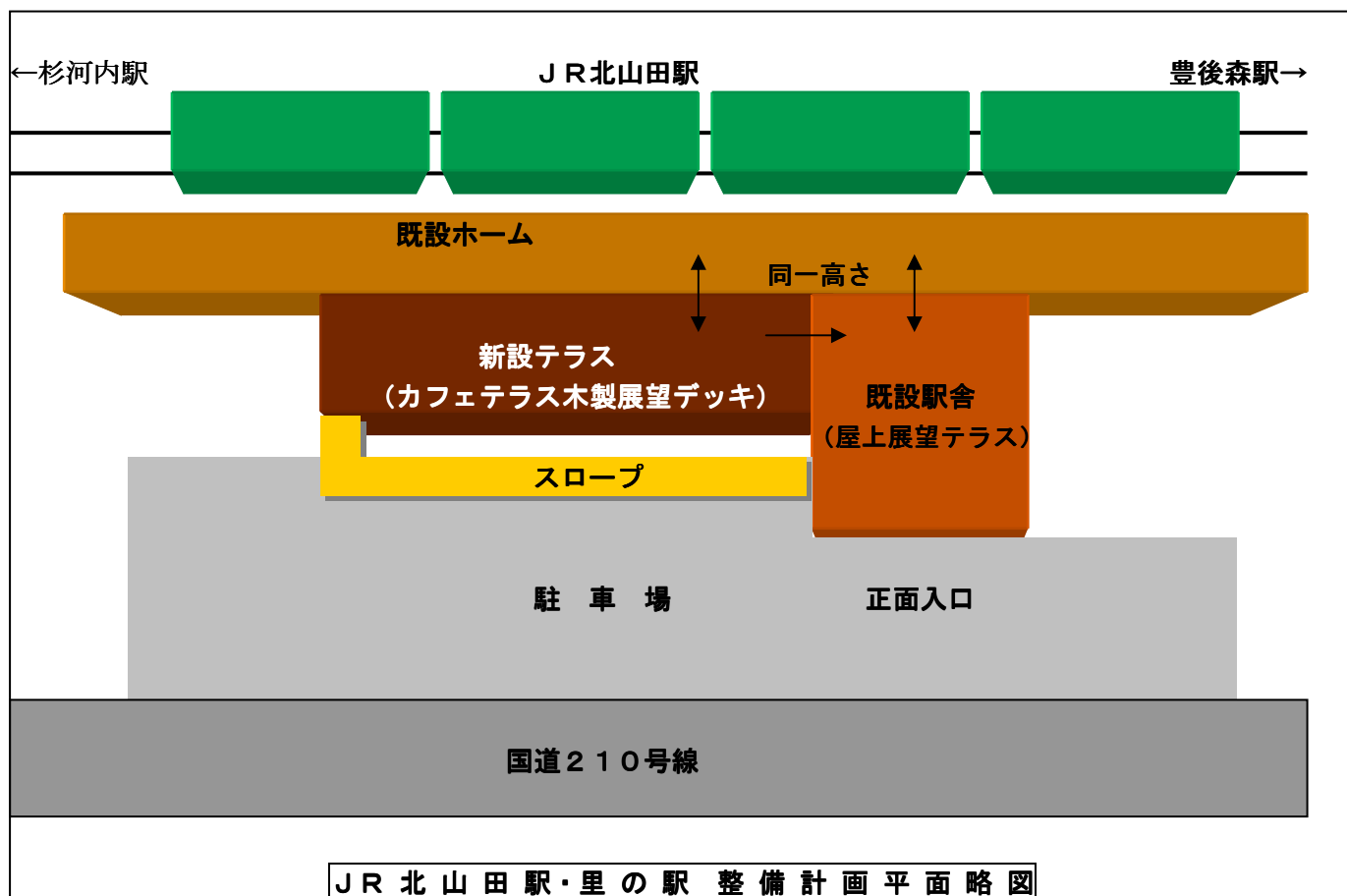
三日月の滝公園から笠懸の松へ至る周回散策園路を整備し、様々な角度から滝を眺められるようにするとともに、季節の花木や紅葉木を楽しめるようにします。





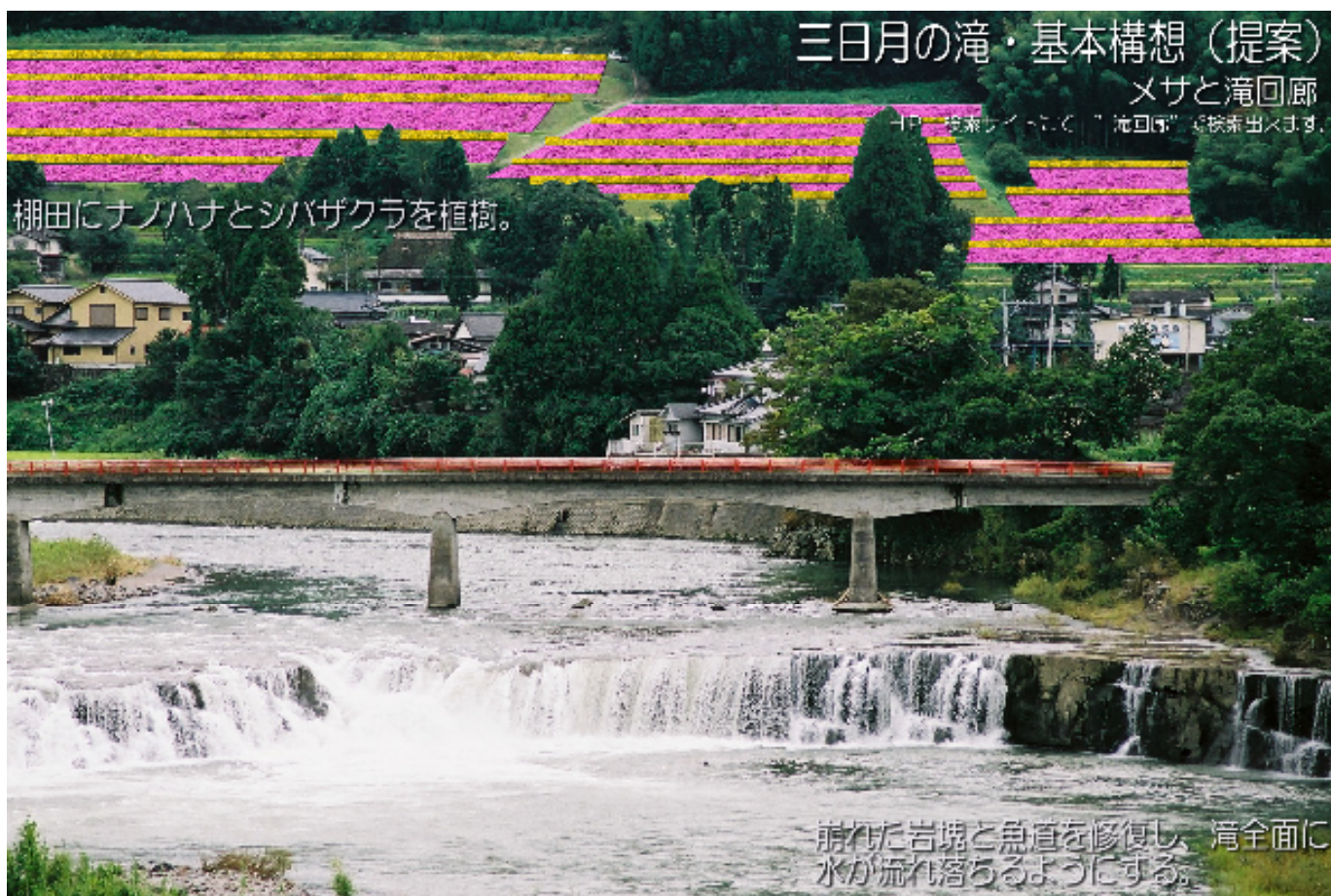
## ② J R 北山田駅整備

J R 北山田駅は無人駅ですが、大分県の「里の駅」として駅舎が活用されており、地元民間ボランティアにより運営されています。しかしながら、通勤通学利用者の減少、国道通過動線区間などで施設が有効に活用されていません。駅の狭いホームから見る眺望は素晴らしく、三日月の滝と小田の棚田が一望出来ます。この狭いホームを一部拡大し、誰でも利用出来る展望カフェテラスのホームを整備し、また、使用されていない駅舎2階部分を撤去し、上部を展望テラスとして活用することを提案します。



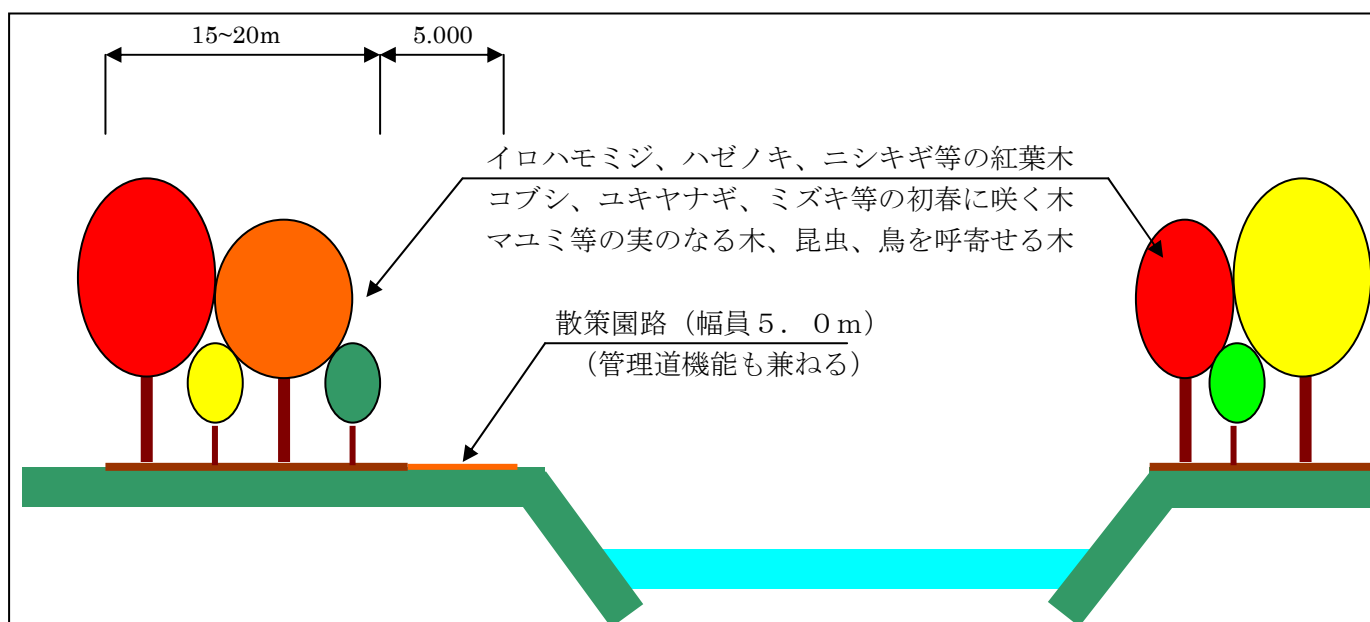
## ③小田の棚田整備

春の菜の花、芝桜、秋の彼岸花、コスモスなどで棚田を彩り、観光スポットをつくります。



※ゆふいんの森号や観光バスの車窓から、三日月の滝と小田の棚田がこのような眺望出来、魅力的な観光資源になります。

## ④玖珠川河畔整備





## g. 天ヶ瀬温泉にぎわい空間計画 ——旅館ロビーを活用した文化アートギャラリー回廊の創出——

## ①旅館・ホテルロビーを活用し、文化芸術を発信

天ヶ瀬温泉各旅館・ホテルを文化芸術発信の場【アートギャラリー回廊】として位置付け、ロビー空間を【アートギャラリーロビー】として活用し、宿泊者のみならず広く一般の方々にもギャラリーを利用して頂き、天ヶ瀬温泉の地域活性化に寄与する事を目的とします。

天ヶ瀬温泉の来訪者が各旅館・ホテルを回廊のように巡る事で、閑散とした旅館街とロビーに明るく賑わいのある面的効果を醸し出すと共に、天ヶ瀬温泉に芸術性と話題性のある空間を創出します。

## ②アートギャラリー回廊（仮称）展示活用（案）

## a) 一 展 示

平 面・・・写真・絵画・版画・書・絵手紙・建築アート・イラストレーションなど

立 体・・・工芸・陶芸・彫刻・アートフラワーなど

その他・・・地元文化活動・芸術活動を行っているグループ展、個展等の発表の場。

地元民家に眠る古家具・水屋、陶器、農具、古資料・古写真・古地図等の展示。

## b) 一 企 画

地元の芸術家、文化活動グループ等の作品発表の場として、天ヶ瀬温泉各旅館・ホテルロビーを積極的に活用できる企画を催し、天ヶ瀬温泉が地域芸術文化に貢献し、天ヶ瀬温泉のイメージ向上と来訪者の増加を図ります。

全国的に知名度のある芸術作家を招く企画展を催し、作品を通して地域の文化交流とマスコミ等による天ヶ瀬温泉の知名度向上を図ります。

1. カメラメーカー及び販売店、美術店、旅行会社、大学研究室等に連携・協力して頂き、展示者と旅館の橋渡し、企画展の協力・協賛、写真撮影会や絵画写生会等のツアー企画、展示備品のレンタルや学生研究活動の場として天ヶ瀬温泉各旅館・ホテルロビーを提供する企画を立案します。
2. 来場者が各旅館・ホテルを巡ることで、例えば3ヶ所で入浴券または宿泊割引券配布や展示案内ハガキ持参で入浴券または宿泊割引券配布等、天ヶ瀬温泉にリピートできるような来場者サービスを立案します。

## ③波及効果

ギャラリー来場者による経済波及効果は即効性ではなく、地域の文化芸術発信地としての個性が定着するまでの長期的視野に立つものであり、それに至るまでの地道な活動を要します。

しかしながら、著名な芸術家の作品展を開く事により、インパクトと話題性のある展示イベントが期待でき、マスコミ報道や専門誌等に掲載される事で天ヶ瀬温泉の知名度向上による来訪者増大に繋がるものと考えられます。

## ④利点及び問題点と課題

## a) アートギャラリーロビー設置の利点

- ・回廊とする事で、小展示スペースでも面的な広がり期待でき、温泉街が魅力アップする。
- ・魅せる【場】をつくる事で天ヶ瀬温泉の賑わい向上と地域文化芸術活動の支援に繋がる。
- ・アートギャラリーを設置する事により、旅館・ホテルの文化的イメージが向上する。
- ・常時イベントが開催される事により、来訪者のリピートに貢献する。
- ・著名な芸術家の作品展を開催する事で全国的な話題性と知名度が高まる。

## b) アートギャラリーロビー設置の問題点と課題

通常ロビーは、作品を効果的かつ安全に展示出来る設備ではない事（専門ギャラリーのよう綺麗な展示が難しく出品者の理解が必要）を念頭に置いて、必要であれば設備改善が予想されます。

- ・展示出品者の利用規約の策定と責任の明確化、管理運営及び管理責任者の設置。
- ・ロビー空間（不特定多数の人が利用する場）における作品の安全対策（子供の悪戯等）。
- ・展示期間に発生するロビーレンタル料、光熱費、案内状、駐車場、運搬等の費用負担の有無。
- ・作品の展示方法・設備の準備等（各旅館ロビーによって広さ、設備等が異なる）  
（展示フック・吊下ワイヤー・スポットライト・移動壁面・長机・折畳椅子・給湯・食器等）
- ・受付・案内・茶菓の接待等に掛かる人的負担。
- ・火災・盗難・事故・災害等が発生した場合の旅館側が出品者に対する保証の有無。
- ・ロビー設備・備品等の破損、汚損、紛失等の出品者が旅館側に対する保証の有無。

## ⑤シャレー水光園 ロビー空間の活用（実施計画案）

本計画を進めていくにあたり、シャレー水光園様にご協力を仰ぎ、計画の取り掛かり第一歩としてロビー、廊下壁面空間をアートギャラリーロビーとして活用させて頂く実施計画を立案し、写真企画展の開催（地元写真家・著名写真家のテーマのある企画展）を目指します。



■ 水光園ロビー



■ 水光園廊下壁面



## 2) 基本構想の実現に向けて

国道210号線、JR久大本線沿線は、メサやビュートの山々、高原、溪谷など全国的に稀有な自然美溢れる魅力ある景観で、観光ポテンシャル（潜在力）は非常にレベルの高いものがあります。しかしながら全国的なアピールと知名度が弱く、また、高速道路など交通の発達により、素通り区間となっています。さらにメサやビュートの用語が地元住民に知られていない場面があり、都市においては登山家や専門家を除いて殆ど知られていません。

さらに日田市と玖珠町の境界に位置する慈恩の滝とその周辺地区は、国道に近接していることもあり、訪れる観光客も多く魅力的な滝でありながら、滝で境界を分けているため、観光客を迎える一体的かつ総合的な整備が進んでいるとはいえません。

一方で現在は、情報と付加価値の時代です。それらが沢山の人を町に呼び込む鍵に繋がります。例えば公共の施設に著名な建築家、芸術家などを採用することや計画に参画して頂く事で、情報が二次情報と呼ばれ、地元自治体や地元住民ではなく、第三者に広く広報されることで、付加価値とネームバリュー効果（価値・知名度）とマグネット効果（引寄せの力）が生まれます。

付加価値とは、物質として目に見えないものですが、イメージとして心に刻まれるものです。ネームバリュー効果とマグネット効果とは、例えば単にイベントや施設などを計画する事ではなく、それにプラスアルファした魅力ある人材で多くの人を引寄せるという事であり、そこに行ってみたいと思わせる事です。それらが滝回廊に点在する全国的に稀有なメサの山や高原、溪谷などと結び付いた時、さらなる観光ポテンシャルが向上し、非常に特色のある地域に繋がります。**大学誘致やイベントなどに著名者を参画させるのは、そのためでもあります。**

「メサと滝回廊」では、国道210号とJR久大本線沿線及び玖珠川を魅力的な空間に向上させ、**福岡など都市部やアジア各国からの来訪者を増加**させる提案と行動を行う事で、それらが**地元経済の向上と地域の活性化及び中九州観光ルートの活性化**に繋がると考えています。

私達は平成19年より、慈恩の滝に於いてボランティアによるガイドを土日祝日に行い、パンフレットを観光客グループの代表に手渡しで31,000部配布しました。年間を通すとその数倍以上の人が来訪して頂いている事になります。

地域構想の主役は、地元住民です。その地元住民の熱意と機運の高まりがまちづくりを推進する力になり、それらをバックアップしていくのが行政の役割と考えています。滝回廊が位置する日田市、玖珠町、九重町の一体的かつ横断的な取組みに期待するところです。

以上のことから地元におかれましても、滝回廊の計画を御理解して頂き、計画の実現へ向けて行政と地域住民が一体となり、魅力的なまちづくりに向けて、さらなるご協力と体制づくりを関係機関に望んでいるところです。

## 3. 経過概要

## ◆平成17年

1月 山浦川・慈恩の滝ふるさとづくり基本構想発表。山浦川慈恩の滝ふるさとづくり実行委員会を設立し、同委員会の平野一義副会長と梶原敏明事務局長がマスコミ記者会見を行う。

2月20日 慈恩の滝ふるさとづくり事業周辺整備に係る祈願祭を実施。(同委員会)  
井上県議をはじめ、80人程度の来賓等の参加があり盛大に終了。その後、滝右側の杉を伐採。



井上県議会議員挨拶



神事



景観の阻害になっていた杉の大木を伐採

6月 慈恩の滝にレンギョウを植栽。(同委員会)  
メサと滝回廊が苗木を提供。

6月13日 玖珠町にＪＲ杉河内駅移設要望書を提出。(同委員会)

6月26日 衛藤征士郎衆議院議員に基本構想計画の概要説明及びＪＲ杉河内駅移設の要望をメサと滝回廊事務局に於いて行い、衛藤征士郎衆議院議員より実行にあたってのアドバイスと協力を頂く。



衛藤征士郎衆議院議員



説明する梶原代表



出席者

8月 春日小学校にて衛藤代議士国会報告会。

国道210号線と県道直角取付け整備、ＪＲ杉河内駅移設、農産物等販売所整備の実現に努力する旨の挨拶を行った。

10月2日 衛藤征士郎衆議院議員がＪＲ杉河内駅移設の住民説明会を開催。

住民説明会には、国交省道路局から岡本博企画課長（現九州地方整備局長）、ＪＲ九州から末長清和大分支社長、大分県から渡辺土木建築部長、玖珠町から小林町長、日田市から市長代理長収入役、日野大分県議会議員、他関係者及び地域住民が出席し、衛藤征士郎衆議院議員が計画の取組みについて説明。



地元の皆さん



衛藤征士郎衆議院議員



岡本博企画課長（現九州地方整備局長）



各出席者



## ◆平成18年

3月12日 イベント「春よこい210」開催。

実行委員会5団体を中心に210号線（日田・玖珠間）約40kmを清掃及び講演会を開催。

講師：大分県企画振興部観光・地域振興局から本田敏明地域振興監

講演：衛藤征士郎衆議院議員、井上伸史大分県議会議員



実行委員会はじめ地元の皆さん



衛藤征士郎衆議院議員の講演



井上伸史大分県議会議員



本田敏明地域振興監

3月15日 井上伸史県議会議員 メサと滝回廊について県議会本会議に於いて一般質問。



井上伸史県議会議員一般質問



広瀬県知事答弁



渡辺土木建築部道路課部長答弁

（HPに一般質問及び答弁の全文を掲載しています）

## ◆平成19年

4月28日 慈恩の滝前で滝周辺（杉河内・山浦・矢野）の観光ボランティアガイドを開始。

～現在

周辺の観光ポイントを大きな写真と観光パンフレットで案内。また、スキのバツや笹舟、ゼンマイのカタツムリなどを作って、観光客や子ども達にプレゼントしています。

（慈恩の滝観光パンフレットは、平成20年8月現在までに約31,000部を手渡しで配りました）



慈恩の滝観光ボランティアガイド 河野元喜 観光客から特急ゆふいんの森号を停めた男と呼ばれています。

土日祝日 午前10時～午後4時まで。現在、観光客をはじめ旅行会社などから相互情報提供のアプローチがあります。



特急ゆふいんの森号へ観光客と一緒に手を振ります。観光客をはじめ、ゆふいんレディーや車掌も手を振り返して頂きました。ガイドを開始してから、観光客の皆様と新たな交流が生まれています。

## ◆平成19年

4月28日 慈恩の滝で草木遊び教室を土日休日に開き、子供たちや観光客にススキのバッタやゼンマイのカタツムリの折り方を教えています。  
～現在



慈恩の滝パンフレット（表）



ススキのバッタ



ゼンマイのカタツムリ



慈恩の滝パンフレット（裏）



イチョウのキツネ・ウサギ



樫のサンダル

5月23日 春日小学校にてボランティアガイドによる出前授業を行う。

全校児童、教員を前に、慈恩の滝に伝わる大蛇伝説や日本棚田百選に選ばれている山浦早水の棚田の歴史、山浦川の水源は渇水時でも毎分三十トンの湧水量があり、県内最大である事などを分かりやすく説明。

6月23日 特急ゆふいの森号ススキのバッタキャンペーン。

～7月16日 特急ゆふいの森号にススキのバッタ・ゼンマイのカタツムリと慈恩の滝パンフレットをビュッフェカウンターに置かせて頂き、観光キャンペーンを行いました。



7月22日 慈恩の滝遊歩道に竹飾りの設置。

～現在 慈恩の滝遊歩道に竹筒で草花を飾り付けたススキのバッタを展示しました。





## ◆平成19年

7月23日

RKB毎日放送の「今日感テレビ」 慈恩の滝をTV生中継。

吉本興業の高田課長をレポーターに向かえ、観光ボランティアガイドの河野さんをはじめ、ススキのバツタの紹介など、和やかな雰囲気の中、レポートして頂きました。



7月29日

カジカ先行放流。8月5日の「夏休み自然観察教室・カジカ放流」を前に、カジカ50匹を先行して慈恩の滝親水公園に放流。



8月5日

玖珠町春日小学校の子ども達と引率の先生、福岡、久留米、佐賀の親子3組の計40人が参加して、[山浦川 慈恩の滝・夏休み自然観察教室](#)を開催。合わせて、[バツタ](#)、[キツネ](#)、[笹舟の焼物を展示](#)。9時からおなめ滝と早水杉河内水路、下河内上水路を見学。山浦川沿いの県道をウォーキング。慈恩の滝では笹舟とゼンマイのカタツムリの作り方教室と笹舟流し。ゆふいんの森号に手を振り交流、続いてススキのバツタとイチョウのキツネの作り方教室。カジカ100匹放流。お昼は、地元産野菜の入った野菜カレーの試食、そして、ジャンケンゲームでバツタやキツネ、笹舟の焼物が貰えるゲームと自然観察教室アンケートを実施。



カジカの観察



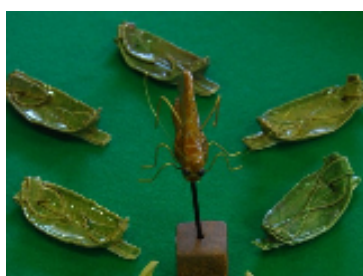
草木遊び教室



野菜カレーの試食



ジャンケンゲーム



辺灰木（へぼのき）さん（日田市）の陶芸作品 バツタ、笹舟、イチョウのキツネ



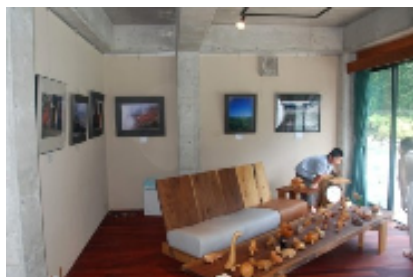


## ◆平成19年

- 8月12日 慈恩の滝の岩清水を利用した8月土日限定の「足水」をオープン。  
 ～26日 この水は、まだ上水道が完備していない時代、付近の住民の生活水として活用していた水で、岩から噴出  
 土日祝日 している清水をホースで引いて利用しています。



- 8月5日 ギャラリーαオープニングイベントにメサと滝回廊が協力。  
 ～19日 慈恩の滝近くにあるギャラリーαのオープンに合わせた写真展と工芸展にメサと滝回廊がパンフレットを  
 作成し、慈恩の滝で配布しました。



- 8月18日 「由布院竹取物語」に草木遊びの講師として参加。  
 ススキのバツタをはじめ、笹舟、草履、ゼンマイのカタツムリなどの作り方をイベント参加者に教えました。



- 9月～ 滝回廊の活性化を目指して、竜のオブジェ製作開始（高さ約3.5m）平成20年4月完成予定。  
 日田市在住の「げんき工房」黒木源喜さんに、メサと滝回廊事務局が製作依頼しました。





## ◆平成19年

9月6日 玖珠ロータリークラブ講演。

玖珠町内望山荘にて「メサと滝回廊」について講演させていただきました。

9月11日 大分銀行一本会講演。

日田市内みくまホテルにて「メサと滝回廊」について講演させていただきました。

10月6日 慈恩の滝にてカウベルランド里山まつりの案内パンフレット250枚配布。

～7日 カウベルランドにてパンフ持参の方にソフトクリームと交換。41名の方が交換しました。

10月7日 「くすカウベルランド里山まつり」にて里の草木遊び教室開催。

ススキのバッタをはじめ、ゼンマイのカタツムリ、イチヨウのキツネ、樫のサンダルなどの作り方教室を開催させていただきました。

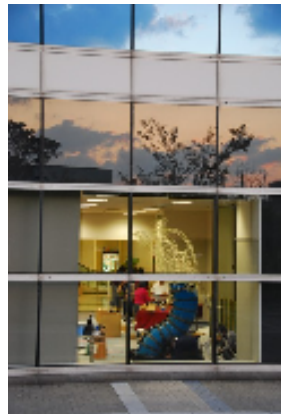


ススキの葉でバッタを織ります

ゼンマイのカタツムリ

11月11～18日 福岡TNC放送会館「天領日田をとりまくそれぞれの匠9人展」にて竜のオブジェ展示。

高取焼、小石原焼や写真、キャンドル、人形等の作品とともに黒木源喜さんの竜のオブジェを製作途中のスケルトンの形で展示させていただきました。高さ約3.5m。設置台1.8m×1.8m。四隅をワイヤーで固定しました。



11月18日 福岡TNC放送会館「天領日田をとりまくそれぞれの匠9人展」にて草木遊び教室開催。

福岡の子ども達に里の草木遊びを実演し、大変好評を頂く事が出来ました。



## ◆平成19年

12月25日 玖珠町役場にて「メサと滝回廊概要説明書」を説明

平成19年12月25日、玖珠町役場に於いて、メサと滝回廊の活動概要及び経過概要、平成の名水百選への応募要請、APU立命館アジア太平洋大学の玖珠キャンパス誘致、ムツゴロウ王国誘致、慈恩の滝基本構想、三日月の滝基本構想等、滝回廊と玖珠町のまちづくり提案をまとめた「メサと滝回廊概要説明書」の説明をさせて頂き、提案について行政のさらなるご理解とご協力を要望致しました。

出席者は以下の通りです。

(玖珠町長 小林 公明／商工観光課長 河島 廣太郎／商工観光係長 湯浅 詩朗／企画財政係長 中川 英則)

## ◆平成20年

1月～5月 竜のオブジェの製作をTVドキュメントとして撮影

OAB大分朝日放送によって竜のオブジェの製作風景をドキュメントとして撮影して頂きました。



竜のオブジェの製作風景を撮影して頂いている黒木さん。

1月25日 平成19年度小規模事業者全国展開支援事業（地域資源∞全国展開プロジェクト）玖珠町モニターツアー  
（主催：玖珠町商工会）に地元まちづくりグループとして参加

玖珠町商工会が主催する上記懇親会へ参加させて頂き、「メサと滝回廊」の取組みを福岡からの参加者にアピールしました。



福岡市を中心にTV局やラジオ局、雑誌社など16社が参加 「メサと滝回廊」から4名参加。

懇親会会場に写真パネルの展示とススキのバツタを飾り、説明を行いました。

2月10日 竜のオブジェ仮組立式開催（日田市大字小野のげんき工房にて）

げんき工房にて関係者約20名が参加し、竜のオブジェの仮組立式を行いました。午前9時から組立を始め、12時半に無事組立が終了しました。また、当日はOAB大分朝日放送のTVドキュメンタリーを撮影して頂きました。



足場左上のTVカメラが竜を捉えます。 子どもと竜の背比べ。

皆で乾杯。



## ◆平成20年

## 2月10日 第2回メサと滝回廊合同会議及び懇親会開催

仮組立式の後、杉河内自治会及び関係者が集まり、第2回メサと滝回廊全体会議と懇親会を開催し、自己紹介と経過概要、今後の取組みの説明とスケジュールについての合同会議を行いました。

中央に竜のオブジェ製作者の黒木源喜さんとID HOUSE／ギャラリーアルファの伊藤邦隆さんです。右テーブルに杉河内自治会の皆様とその間にボランティアガイドの河野元喜さん、杉河内婦人会の皆様が並びます。奥より黒木さんご夫妻、竜の物語紙芝居口演予定の宮崎秀人さん由紀子さんご夫妻。メサと滝回廊代表の梶原毅。慈恩の滝オリジナル下駄製作の本野廣明さん、竜の物語原作者の江藤友美さん。伊藤邦隆さんの奥様でID HOUSEの伊藤由美子さん。写真には写っていませんが、竜の物語製作記録写真担当の島田文子さん、OAB大分朝日放送カメラマンの奥田良雄さん、メサと滝回廊事務局の穴井、後ほど参加のメダカの小学校代表の小笠和義さんの20名が参加しました。



メサと滝回廊関係者。奥正面に黒木さんご夫妻が座ります。右側に杉河内自治会、婦人会の皆様。左手前はTVカメラです。

## 3月10日～ 竜のオブジェ「上昇喜龍」展示案内

パトリア日田展示、慈恩の滝設置を控えて、日田市内の主な施設、店舗、レストラン等に上昇喜龍の案内パネルと木クラフトを展示しました。パネルには、「慈恩の滝の竜の物語」と慈恩の滝に設置した合成写真を配しています。木クラフトは、伊藤邦隆さん（ID HOUSE／ギャラリーα）の作品で、竜のオブジェ「上昇喜龍」とともに同一テーマで、地域づくりに貢献していくものです。



日田市役所市長室

パトリア日田

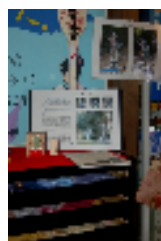
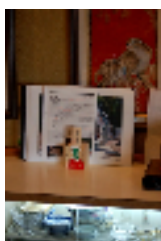
JR日田駅

大分銀行日田支店

豊和銀行日田支店

日田信用金庫本店

日田信金田島支店



日田信庫豆田支店

日田信金三芳支店

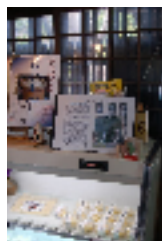
カウベルランドくす

旅館ひなの里山陽館

旅館亀山亭ホテル

旅館みくまホテル

旅館よろづや



龍泉閣（九重町）

原次郎左衛門

レストラン立花

レストラン榎膳

うどん・そば処客殿

春日うどん（九重町）

この他に、玖珠町役場、日田信用金庫玖珠支店、天瀬支店に展示させて頂いています。

## ◆平成20年

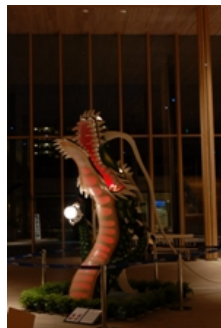
4月20日 パトリア日田に於いて、竜のオブジェ「上昇喜龍」展示・製作記録写真展を開催

～5月1日

日田市民文化会館パトリア日田ロビーにて、竜のオブジェ「上昇喜龍」展示・製作記録写真展を開催しました。



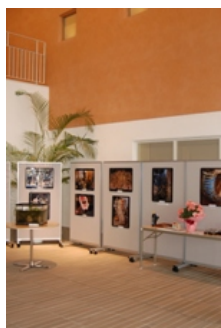
パトリア日田ロビーに展示



夜間の照明



イベント参加者



島田文子製作記録写真展



伊藤邦隆 (ID HOUSE)



(株) 井上酒造



本野廣明

木クラフト「上昇喜龍」 本格焼酎「慈恩の滝の上昇喜龍」 オリジナル下駄「上昇喜龍」

## 5月3日 竜のオブジェ「上昇喜龍」除幕式・島田文子竜のオブジェ製作記録写真展

慈恩の滝に於いて、竜のオブジェ「上昇喜龍」の除幕式とギャラリーアルファにて島田文子竜のオブジェ製作記録写真展を開催しました。



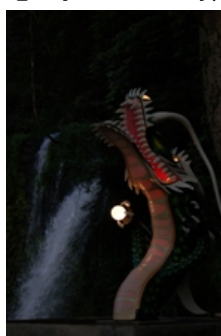
竜のオブジェ「上昇喜龍」除幕式



製作者の黒木氏



除幕式参加者（地元住民、来賓、関係者等）集合



夜間照明



滝回廊をパネルで紹介



地元手作り料理でもてなし



地元産野菜の天ぷら



島田文子製作記録写真展



## ◆平成20年

7月

「慈恩の滝音頭」完成。

メサと滝回廊では、山浦・杉河内地区の地域活性化と観光客増大を願い、「慈恩の滝音頭」と日田市内の有志の皆様振付による「慈恩の滝音頭の踊り」を製作致しました。CDは、無料で地元や関係者などに約120枚配布致しました。

また、本格焼酎「慈恩の滝の上昇喜龍」(榊井上酒造)2本セットにCDを付けて、200セットを販売開始し、3週間で完売しました。本製品は、製作者のご好意により売上の一部を自治会へ還元致します。



慈恩の滝音頭CD (メサと滝回廊)

「慈恩の滝の上昇喜龍」(榊井上酒造)

有吉ミナト (左) 長谷カズ子 (右)

1. 豊かに色づいた 万年山のふもと 緑に囲まれて 慈恩の滝は 水の太鼓が鳴り響くよ 町に山に空に 遠い昔に竜と聴いた あの日と同じ	2. 小さな洞窟に 残るぬくもりは 小竜とともにいた 懐かしい日々 白いしぶきが輝いてる 岩タバコを 濡らして 光の中に浮かぶ姿 竜の面影	3. 澄んだ大空の下 緑の列車で あの山を見に行こう 川を渡ろう 今も昔も変わらぬ流れ 竜の想い 運んで 心を癒す水の香り 滝のふるさと
---	--	---

慈恩の滝音頭 : 作曲 梶原 圭恵 : 作詞 大飼 幸治/梶原 圭恵 : 演奏 梶原 圭恵 : 歌 大飼 幸治  
 : 企画・CD製作 メサと滝回廊事務局  
 慈恩の滝の竜の物語 : 朗読 大飼 幸治/BGM メサと滝回廊イメージソング「過ぎし夏」作曲・演奏 梶原 圭恵  
 慈恩の滝音頭の踊り : 振付 有吉ミナト (天瀬町) 長谷カズ子 (日田市)

## 8月10日 慈恩の滝で紙芝居士、宮崎秀人さん口演による紙芝居を口演

日田市内の隈診療所医師、宮崎秀人さん口演による紙芝居「慈恩の滝の竜の物語」を8月10日慈恩の滝で行いました。



## ◆平成20年

8月22日 玖珠町商工会・玖珠町経営研究会例会にて基調講演

8月22日午後7時20分より玖珠町のホテル清流にて、玖珠町商工会・玖珠町経営研究会例会にて基調講演をさせていただきました。内容は、「観光資源を活かした地域活性化の取り組み」で、「メサと滝回廊概要説明書」について、約1時間30分講演させて頂き、その後約15分、質疑応答を行いました。

また、懇談会に参加させて頂き、会員の皆様と玖珠町の地域活性化について意見交換を行いました。

9月9日 「慈恩の滝音頭の踊り」の披露と(株)井上酒造より売上の一部贈呈式

9月9日午後7時半より杉河内小学校にて、「慈恩の滝音頭の踊り」を地元婦人部の皆様へ披露し、婦人部の皆様と敬老会及び杉河内小学校運動会で踊るため、踊りの練習を行いました。

また、(株)井上酒造より、本格麦焼酎「慈恩の滝の上昇喜龍」の売上(595本)の一部(1本20円)計11,900円を、まちづくりへの寄付として杉河内自治会へ贈呈して頂きました。



振付：長谷カズ子(左) 有吉ミナト(右)



杉河内婦人部の皆様と山浦地区の住民の皆様による踊りの練習



(株)井上酒造専務取締役 高瀬さんより挨拶と売上の一部を贈呈

9月28日 杉河内小学校運動会で婦人部による「慈恩の滝音頭」の踊りを披露



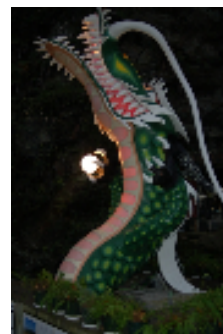
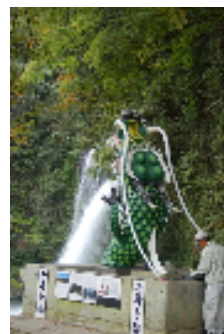
運動会で住民の皆さんに披露しました。





◆平成20年

11月2日 上昇喜龍を移動し、頭を滝つぼへ向ける改修を行いました。



11月2日 慈恩の滝にて、杉河内住民有志による慈恩の滝音頭を観光客の皆様へ披露しました。



観光客の飛び入り参加もありました。



11月2日 杉河内住民有志による、だご汁、新米おにぎりに関係者はじめ観光客の皆様へ提供し、大鍋3つ（200人分）のだご汁が30分でなくなりました。



だご汁

新米のおにぎりと手作りの漬物



関係者はじめ観光客の皆さんに食べて頂きました。



◆平成20年



観光客の皆様にご食べて頂きました。

TVドキュメント撮影



ゆふいんの森号へ観光客の皆様と一緒に手を振ります。



メサと滝回廊では、ここに挙げた事例以外にも、滝とメサに関連する調査、提言、提案、計画、HPでのクラフトプレゼントや地元工芸家、陶芸家、写真家の紹介、地元店舗の紹介、観光案内など、様々な取組みで地域貢献を行っています。

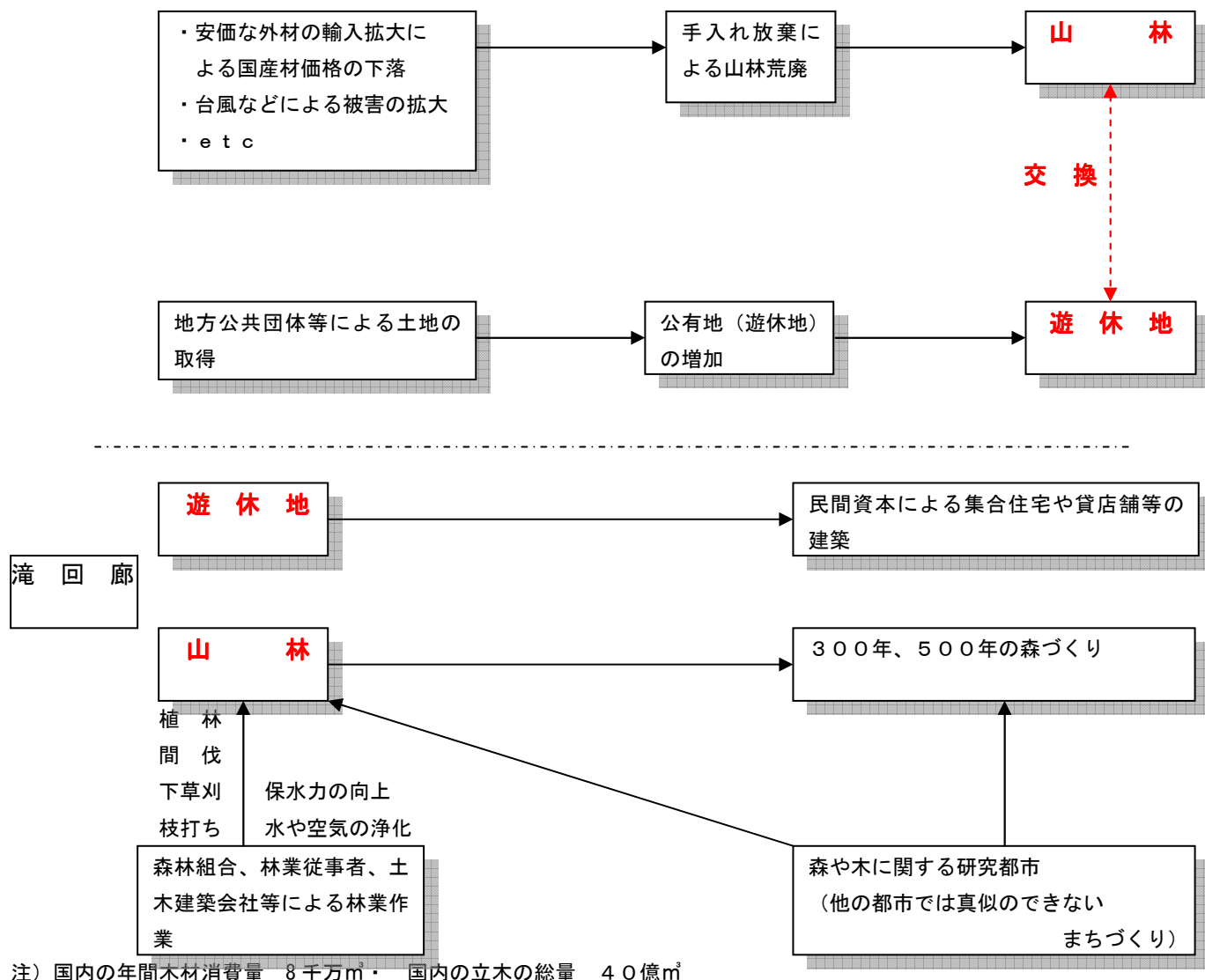


## 4. 山林と公有地（遊休地）の等価交換と構造改革特区の設置による地域再生

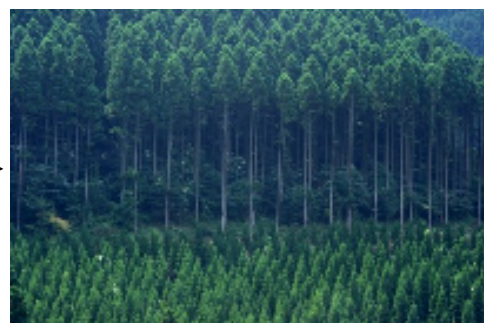
## 1) 個人が所有する山林と公有地（遊休地）の交換による地域再生構想

福岡市等の都市部の地方公共団体が所有する公有地と玖珠町内の山林を交換し、山林を福岡市等の公有財産として、その手入れを玖珠町内の森林組合や林業従事者、土木建築会社等に行って頂く事で、雇用の確保と森林再生、水資源の確保を図る地域再生を行い、魅力的な滝回廊を形成します。

## 概念図



荒廃した杉林



手入れの行届いた杉の美林、魅力的な景観

## 2) 木造建築の減価償却期間を10年に短縮する構造改革特区の設置による地域再生構想

玖珠町の都市計画区域内に建設する建物を木造建築にした場合、減価償却期間を10年に短縮する構造改革特区を設置し、地域性とデザイン性のある木造建築の誘引と、木造建築の技術集積を行います。これらが玖珠町の地域性を醸し出す特色あるまちづくりへ繋がり、地域性のある文化を形成し、魅力的な滝回廊形成へ繋がると考えられます。

### a. 建物の減価償却期間比較表

	事 務 所	店 舗	飲 食 店	旅館・ホテル・病院
木 造	24年	22年	20年	17年
鉄骨造（骨格材肉厚4mm以上）	38年	34年	31年	29年
鉄筋・鉄骨鉄筋コンクリート	50年	39年	41年	39年

### b. 木造建築の事例

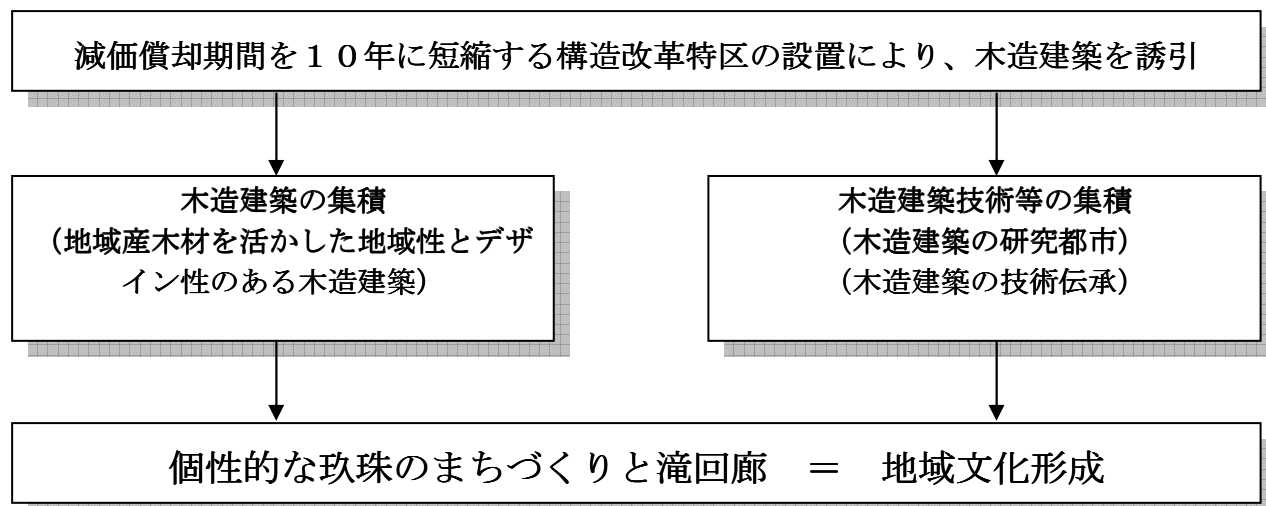


小国町ゆうステーション（小国町）  
小国杉を使った木造トラス構造



クラフト蜂の巣工房 月點波心（湯布院町）  
12角形構成3ヒンジラーメン木造トラス構造

### c. 特区設置による効果（概念図）





## 5. 参考資料

## ◆APU立命館アジア太平洋大学データ（2008年11月1日現在）



## ・学生数

	学部学生数	大学院学生数	交換・短期留学生	学部・大学院合計数
国際学生(留学生)	2,458人	290人	67人	2,815人
国内学生	3,125人	16人	12人	3,153人
APU学生総計	5,583人	306人	79人	5,968人

・計81ヶ国

## ・国別留学生数（上位20カ国）学部・大学院合計

1. 韓国	677人	11. ネパール	36人
2. 中国	674人	12. スリランカ	37人
3. タイ	252人	13. マレーシア	20人
4. ベトナム	221人	14. フィリピン	16人
5. インドネシア	186人	15. パキスタン	10人
6. モンゴル	103人	16. シンガポール	9人
7. 台湾	104人	17. ラオス	6人
8. バングラデシュ	66人	18. カンボジア	9人
9. ミャンマー	74人	19. サウジアラビア	7人
10. インド	41人	20. トルコ	2人

## ・APU 地域との友好交流協定

2001年	3月締結	三重町（現豊後大野市）	2005年	7月締結	長野県飯田市
2003年	7月締結	鶴見町（現佐伯市）	2006年	1月締結	中津市
2003年	10月締結	臼杵市	2006年	7月締結	佐伯市
2004年	3月締結	別府市	2007年	2月締結	日出町
2004年	4月締結	蒲江町（現佐伯市）	2008年	6月締結	国東市
2004年	11月締結	大分県	2008年	7月締結	日田市
			2009年	4月締結	杵築市

## ◆全国の主なアニメ学科設置大学

京都精華大学（京都）	マンガ学部	マンガ学科／アニメーション学科
東京工芸大学（東京・神奈川）	芸術学部	マンガ学科／アニメーション学科
別府大学（別府）	文学部	芸術文学科 アニメーションコース
東京芸術大学大学院（横浜）	大学院映像研究科	アニメーション専攻

## ◆九州地方の「風景街道」

- |                              |                    |
|------------------------------|--------------------|
| 1 日南海岸きらめきライン                | 6 かごしま風景街道         |
| 2 日豊海岸シーニック・バイウェイ（蒲江・北浦大漁海道） | 7 玄界灘風景街道          |
| 3 ながさきサンセット・オーシャンロード         | 8 九州横断の道 やまなみハイウェイ |
| 4 北九州おもてなしの“ゆっくりかいどう”        | 9 九州横断の道 阿蘇くまもと路   |
| 5 ちょっとよりみち 唐津街道むなかた          |                    |

## ◆慈恩の滝、とるば人気投票で大分県第1位

慈恩の滝は、とるば（フォトスポット&パーキング）（道守九州会議）に於いて、人気投票により九州地区8位、大分県内1位を獲得しています。（平成21年4月現在）／とるばホームページ <http://kyusyu.torupa.jp/>

九州地区	1位	菊池渓谷第1駐車場	熊本県菊池市
	2位	清栄山	熊本県高森町
	3位	スカイライン展望所駐車場	熊本県阿蘇市
	4位	フラワーヒル菊池高原駐車場	熊本県菊池市
	5位	鍋が滝駐車場	熊本県小国町
	6位	道の駅「なんごう」	宮崎県南郷町
	7位	平尾台自然観察センター駐車場	北九州市
	8位	荒崎パーキング	鹿児島県垂水市
	9位	慈恩の滝	玖珠町
	10位	長崎自動車道 金立サービスエリア	佐賀市
大分県内	1位	慈恩の滝	玖珠町
	2位	由布川峡谷猿渡橋	由布市
	3位	蛇越展望所駐車場	由布市
	4位	別府湯けむり展望台	別府市
	5位	狭霧台（さぎりだい）	由布市
	6位	神楽女湖駐車場	別府市
	7位	道の駅「ゆふいん」	由布市

## メサと滝回廊 概要説明書

平成21年5月

資料作成：メサと滝回廊事務局 代表：梶原 毅

慈恩の滝ボランティアガイド 河野 元喜

〒877-0025 大分県日田市田島2丁目11番31号

「メサと滝回廊」ホームページ [http://www.geocities.jp/mesa\\_takikairou](http://www.geocities.jp/mesa_takikairou)

※ホームページは、検索サイトで“滝回廊”にて検索出来ます

連絡先 電子メール [mesatakikairou@yahoo.co.jp](mailto:mesatakikairou@yahoo.co.jp)

Those who live in the woods which cherish rich water.（豊かな水を育む森に住む人）